日

| では、 で大氏は更に山本伯の命を受け東本伯を訪びその意を傳へた山之内 本伯を訪びその意を傳へた山之内 本伯を訪びその意を傳へた山之内 「東京二十一日發」園公訪問後山一館を解へ同二時翻送した

山之内氏談

会訪問山本伯、東郷元鹹の意・閩公の意を収欠、ここ 達・五分齢表したが同三十五分科 「「「東京二十一日餐」山之内一次氏」の一番のでは、東京二十一日餐」山之内一次氏」の「「東京二十一日餐」山之内一次氏」

けふ午前中に

村事本 武代 一色三色版

『東京廿一日登』上院元帥は午後 『東京廿一日登』上院元帥は午後 上原元帥發病

有志代議上

く事態を

政友會は徐ろに善處

二十五日午前十一時左の地區の一

上會取止

共同委員會へ出場の表演を公共の表演を記述さを通告

を今更ら崩壊せし 揺乗し種々意見交換した結果、物が今日送多年培つ 長は今朝十時より本部に総事會をごの意向も可成り もなからうこの意見出て山口幹事が今日送多年培つ 長は今朝十時より本部に総事會を

| 探集し種々意見交換した結果、糖を長は今朝十時より本部に総事會を

「東京廿一日登」政友會は憲政機、配に導く供れあり家と 後一時より本部に有志代議士會な むる機なこさがあら とこの繋が驚内に膨頭も廿一日午 て來た政憲政治を今下 しこの繋がだいに有志代議士會な むる機なこさがあらる では、東京廿一日登』政友會は憲政機、配に導く供れあり家と

重臣の意向全部聴取 園公善處心奉答せん 大命降下は今明 料を 特別一行金 | 加二十級 機 (計画)十一級 (計画) (計m) (計m) (計m) (1m) (1m)

部を刺載することは時局な一層流・云ふ大橋の聴解が定であつたが、窓内にはこの際軍・部も鈴木螺旋に強闘いて決議支を天下に繋明する鎌・口のみならず最近しい。

鲍迄一單獨

内閣だ

取し無す事となるのでこの結果後繼內閣の首班たる人物の內定をみる事となるかもしれず競木陸橋と食具、二十二日は午前九時大角海橋同九時特東縣元郎と食見する事となった、これにて聴取すべき意見は全部聴力をの間若機駅と民政緊急機の立場から政際政治を治験すると同時に現實国政の見地から或る安認確定見た進べてあるが聞公は更に午後八時の間若機駅と民政緊急機の立場から政際政治を治験すると同時に現實国政の見地から或る安認確定見た進べてあるが聞公は更に午後八時間との問若機駅と民政緊急機の立場から政際政治を治験すると同時に現實国政の見地から或る安認確定見た進べてあるが聞公は更に午後八時間との問者機関と民政策と民政策と、東解職元郎の意見を聽取せる事は前側なき事である、この帰昨日の牧野、高橋、倉窟諸氏に指紋と二十一日を3十九日上京以來聞公は時間の重大性に鑑み懺重なる態度を持し殊に政義を接き建した動成中に軍部方館の動きある事。「東京二十一日参3十九日上京以來聞公は時間の重大性に鑑み懺重なる態度を持し殊に政義を接き建した動成中に軍部方館の動きある事。「東京二十一日参3十九日上京以來聞公は時間の重大性に鑑み懺重なる態度を持し殊に政義を接き建した動成中に軍部方館の動きある事

『東京二十一日**姜』荒木陸梱は本日午後十時、大角海棚は二十二日午前九時、東州元帥は二十二日午前九時中それん**『東京二十一日**姜』荒木陸梱は本日午後十時、大角海棚は二十二日午前中にはこの事ある可して観測される**』と察せられ從つて大命仰れに降下するも明晦若しくは明後二十三日午前中にはこの事ある可して観測される。 後策に就き悲談する事さなつた の意味全部を聴取し公の著集意見を確立し明日午後にも参内、陛下に疾動仰わけられ後職内閣組織者を必答す関寺公は明日大角海稚、東郷元帥ご會見せば十九日入京以來十氏ご會見する事さなるが山本大勲位ごも明日會

懲よ山本伯説が濃厚

強力内閣を組織する以上これを範囲せざるを得ざる事理の高級なり、耐して重配し位の妲き意見を抱ぐもの多きため聞公も山本館に懸霊する最大強力内閣が出現する以上望器に非すば不可なりさなて事は想像し得ざるべく飾ち山本館の妲き元動出脚し一流人物を継続し続きなんが寒せればならぬ事を総像した調である事態のの餘地はない、耐して軍部方館は平活内閣出現を希望しるる様なるも城下の時局を巨数を作る事が時局を收拾する影響の策たる旨を一致館に聞公に邀記した模様である、聞公さしては國家非常時に離りては慰政の繁道をしばを作る事が時局を收拾する影響の策たる旨を一致館に聞公に邀記した模様である、聞公さしては國家非常時に離りては慰政の繁道をしばを保る事が時局を收拾する影響の策たる旨を一致館に聞公に邀記した模様である、聞公さしては國家非常時に離りては慰政の繁道をしば、東京二十一日登』聞公入京以來三日間これまでに進言した軍臣の意向はもさより詳にする事は出來わが、大監察國一致的最大強力内閣 するさの観測が強くなった 山本伯間を 荒木陸相參內

教育總監更迭

上奏編を御下間に素答したと奏編を御下間に素答した。

山之内氏頻りに動く

園公に詳述

旅間し今回の不祥事性並に後職内 一荒木陸棚は二十一日上奏、御寒下公に掘かれて午後七時五十分公本 | 寛會議で齢意を表明してゐたが、「東京二十一日登」 | 荒木陸棚は戲 | は午風不祥事性の責旺を感じ三長

後任は菱刈大將內定

第一大將 **菱** 刈 第一年事參議官 東事參議官 武藤總監參內

議會政治療 物、飛井氏の協議 から宣記 の最低職立の意記 以ては時局柄見合

石家、櫻内の三面 民政重要 大学の経験を観されば、大学の大学のでは、 ない、政友会は二、大学のに、 ない、政友会は二、大学のに、 ない、政友会は二、大学のに、 を力説、際の際原を を力説、際のになった。 で、、政友会は二 て意見の交換を試みたが で、非常時なれば華岡一致内閣に で、非常時なれば華岡一致内閣に で、非常時なれば華岡一致内閣に で、非常時なれば華岡一致内閣に で、非常時なれば華岡一致内閣に 民政黨の片間 【東京廿一日發】民政黨は廿日午 を大時から丸の内會館に有志代議 主會を開き、先づ時局問題について意見の突換を試みたが より時局を救ふべし より時局を放かでし より時局を放かでし について意見の突換を試みたが にのいる。 についる。 にのいる。 にのい。 にのいる。 にのい。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのい。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのい。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのい。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのい。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのいる。 にのい。 にの 歌議するな難け、安整、常田殿氏 大勝の入驚につき意見の交換に入 の復驚については地田歌八氏が時間の反動あるに強て急速につる必然をなしての異論を述べた外、大勢はなりを変なしての異論を述べた外、大勢は 薫の更生家を議述さら實際問題と して安達、富田剛氏の復黨、宇垣

護憲運動氣運擡頭

事件の處分、

でならい面とその一は政治の革 出現は之か控え暫らく擧國内閣 とて選進せるめる事が必要で ある

間後語る

園公訪問後近衞公談

感されてゐる模様である。

目鼻つ

奉答決意は未だ決つてる

ぬるが、園公上嘗つてない程苦雨元帥と會見することゝなつて ないさ思ふ、今日は東郷、上原

> 閣に對する陸軍部内の意向を詳述 大角海相、東 郷元帥を訪問

れ冊分間に真り種々熟読を遂げた 東郷売館を誤問と訛錠の報告を兼 東郷売館を誤問と訛錠の報告を兼

会は未だ園公さは會見の像定は 車部の方は全く解らなくなつた 年後は園公の肛一つで決する譯 でが、その心情が察せられる。 だが、その心情が察せられる。 では、神で意見の相違な来では、名は二十日午後八時四十年、神で意見の相違な来では、名は二十日午後八時四十年張八時四十年張八時四十年、神では、神では、神では、神では、神では、神では、一年の時では、一年の時では、

願書を提出、関公に傳達方な依頼

旅行不可能で

凱旋延期か

安靜を要す白川大將

便衣除の

して発さ同時に駿河産の所関守公 成を旅間し、夫々國家安定のため に凡ゆる階級の有力人物な總級で に凡ゆる階級の有力人物な總級で ないました。 大々國家安定のため で、

産金融資金融通の作は左の通りで 失補旗に充っ た、預金部資金は三千萬圓ばかり 石、黝銀、農銀、拓銀は利絹のた、預金部資金は三千萬圓ばかり 据置) 塩六原に相當する金額を引いた、預金部資金は三千萬圓ばかり 据置)

四、償還期限、二十年以内(五年率は年八分さす

政治干與の誤解を避 の態度方針

監代表七名、愛國常年職監代表十年有志な以て組織せる数國學生同生有志な以て組織せる数國學生同 教育状況に就手重要上奏した 嘆願書提出 救國學生同盟

一なほ海軍さしては関公より配合ない限り海軍戦より會見を ・ 申込む如き前くも政治に丁奥する ・ 申込む如き前くも政治に丁奥する ・ はて居る

女様と共に午後四時鈴木總裁を訪れて東京二十一日餐』森翰長は鳩山 森翰長語る

民政黨の對議會策

議會政治擁護を

若槻總裁が力説

機だこ危機な脱らたものさ見て差 ・一般を奏ら全朝は元績恢復も一同 ・一般を奏ら全朝は元績恢復も一同 ・一般を奏ら全朝は元績恢復も一同 ・一般を奏ら全朝は元績恢復も一同

『上海二十日餐』 表軍撤退さ共に 使表際の海転戦大艇に優し連日事 特異が便表際からヒストル十載餐 の射撃を受けたため本部から一小 の射撃を受けたため本部から一小 日支紛争ご

総会の集會席上一下院試真の質問 に答へ、今次日安統軍事件に関し に答へ、今次日安統軍事件に関し ため非常に不利だったと強調した カー氏意見

日露支衝突 ドイツが憂慮

の結果、支那、勢農野日本の衝突と、上の一部では強硬政策成立と、上の一部では強硬政策成立 相の暗殺動機が政府 憂慮してゐる、この説は大養前

各都市一店限り

議で佛振紫の細蔵戦総紫紫止紫を化學紙蔵破特別委員會は二十日會 禁止案を可決細菌戦の絶對

第四回目輸血

田 ムを行つた 小康を早じぬるも裁験甚だしく午 小康を早じぬるも裁験甚だしく午 任關東總專賣局屬兼關東歐屬 滿場一致で可決した 関東職群命二十二

常田中 常田中 生

現を聞ることとなり同十一時

正上海に急行 三木一等軍醫

政治干與を云々する如きは

協議

認識不足に基くもの

開東麗理事官 富樫

改訂版

預金部資金 本年度運用計畫 教授法學博士 石田文次郎铁新著

金

『東京二十一日景』本年度の預金 『東京二十一日景』本年度の預念 『東京二十一日景』本年度の預念 『東京二十一日景』本年度の預念 『東京二十一日景』本年度の11年 『東京二十二日景』本年度の11年 『東京二十二日東京三十二日東京三十二日 『東京二十二日東京三十二日 『東京三十二日 『東京三十二十二日 『東京三十二日 『東京三十二 『東京三 委員會で原案を可決 和和

||特價·六法·愈々發賣|| ◇別册附錄 最近法令集 門刑法改正草案 添付

指定六法として斷然獨特の信賴と稱讚とを擔ひ來れる實典である。現に各地裁判所を始め、司法官、聯議士は勿論、各大學・高等學校・中等學校等の有些關の帝國六法全書官後夏以來實に數百萬部の永續的利用を育ち

て最近法令集……(本冊には最近一年間に公布せる法律の全部と刑收録法規管に百數十件に及び、而も本年發賣の六法には見に別冊阿錄と本書は印刷鮮的・內容器官・搜帶至便の三要素を完備せる最初のテガにし 土へ頼たんと試みられたものである。希くは此の機會に陸環衛用命あらんことを…今回此の光質せる最新版を特に奉任的廉價を以て譬れく學生故に一般 夏。輕便法令集) ◇普及版 調査委員會總會の決議に係る刑法改正草案等を輯録せる武百 定價金 貳 圓 定價貳圓五拾錢總革見出付函入 田京 を添付し、 以て研學者諸賢の利便に供ふ。 斐 一五〇 .. □ O 三七の番 振替東京 料瓷

事訴訟法釋義 雌上卷 金 四 ◆送經滿館各卷金六十二錢◆ 竹野竹三市

◆上、巻 には 第一條乃至第百八、◆中 巻 には 第百八十二條乃至第三 神に女質証を迅速に解決するに必要赦くべからざる最良の大者である。 急に会験を示し、以て玩法の解釋過程になった地照し、獨実計釋語大家の書書に引し、本の解説、の二十、來 居 到 第二条 中間 發賣の中 巻はていたる 半 來 居 到 第二条 中間 安賣の中 巻はでは、 その 解説、の二十 來 居 到 第二条 中間 安賣の中 巻には 第三十九條迄を解説するに必要がし、 へからざる最良の大者である。 急に会験を示さる。 生生 第一分册 金金

發行所 東京神田一橋通 有妻閣◆謝所一大阪屋號書店

神戸博士歡迎會

明日子を要する、村井總領事は全快 一 過度級で籐椅子に起き上り新聞を で修椅子に起き上り新聞を はまた

「上海二十日数」上海事代による 東八十九仙、金四十四萬三千五百 別 たもの繋記載六十六萬四千九百十 温 たもの繋記載六十六萬四千九百十 温 たもの繋記載六十六萬四千九百十 温 時。山川大概診験のため急遽派邀された三木一等軍警正は二十一日午前十一時前川大概診験のため急遽派邀された三木一時年前十一時候に参加で同地に急 重光公使良好

たこの懐然に繋ずる陸軍部内の空撃は根密は意を要するものがある関係上之に臨む陸軍首際部の態度にび小磯次官は二十一日午前九時官邸に意木陸根を訪問し右に関する一般懐黙を報告した後、之が野家に登』後編内閣問題に繋する軍部の態度を以て政治に刊典するものさなし隆慰膨動の輸運に載く聴者さな 更であるが軍部 ついあるに鑑み

関の學國一致内閣を 物を求めその下に既 政政黨をも包含した の学園一致内閣を の学園一致内閣を の学園一致内閣を の学園一致内閣を の学園一致内閣を の学園一致内閣を

を述べた模様であるが清

園公を訪問

る、それにはどうしても疑問ることが急化な問ることが急化な問ることが急務であるかの弊は相當深いものがあるかることが急務で

園公ご會見

十五分鼠公を訪び所信

所信を披瀝

した清浦子

致内閣を力説

栽につき詳細觀しこれが處分これで加へ四巨熊會議を開き事件の顧

売木陸棚を訪び武藤、真崎崎将軍上原元帥は二十一日午後零時十分

からその者 勝力を以てなすここは を務して概能し、徹 を正確な

三、轉生說の迷信

支那民族性の

優れた點と原因

Ť

中原 菊市

日

至ったがこれが主因ことて舉げら百萬以上の差違める數字を示すに

専門委員飛機で

ある。如何なる人が今後政治の 意し、此方面に力を用ゐるので 意し、此方面に力を用ゐるので なければ、我國は水久に敢はれなければ、我國は水久に敢はれな、 番目とたのはきは次第である 併心斯くの如き油象的の事なら は、何人も云が得るこで、最

問題になるものである。國防がものはない。只その程度如何が 日病が、何事にも附き纒つて足の我國外交界の宿痾たる恐白蟾はない。只從來は、明治以來

ある。然らば此の如き國民の不 安は、何から起るこ云へば、物 安は、何から起るこ云へば、物 安は、何から起るこ云へば、物 安は、何から起るこ云へば、物 京の缺乏、其の配給の不合理に 歸す可きものであつて、更に其 原因た求むれば、法律、政治、 教育の縁陷にある。而して法律 政治、教育の根本缺陷こして指 横す可きものは、從來我國の官 民が徒らに歐米の模倣にのみ傾 長、長殿決難係主任等が上京も目 を得ておくため十六日大域主計談 が中間の手續をなすさ同時に臨時 の映響の手續をなすさ同時に臨時 が得ておくため十六日大域主計談 が得ておくため十六日大域主計談

高級六年度機業收支並に事業製決 高級六年度機業收支並に事業製決

日午後二時市川經典部大長より出ってゐるが、滿線本社では二十一 提出してこれが説明を行

日滿協會創立計畫

大学記されたが一谷はヤマトホテル テルに入った、一谷は を表すると、日子後二時三十分長春な出 は標準関東東鏡梁、木本 で大きれたが一谷はヤマトホテル テルに入った、一谷は を表すると、出口格子 と、「長春電話」 日間の象定、その間には を観察し継州勝郷に本語 で、京本 で 、京本 で 、 京本 で 、京本 で 、京本 で 、京本 で 、京本 で 、 京本 で 、 京本

提案にかゝる職態の豫葉削減及びに午後五時からはイギリス代表の

為替市場

はれず、此れ以上居ても、満洲國 ずて新京に向つた▲馬岱山には會 がて新京に向った▲馬岱山には會 はれず、出れ以上居でも、満洲國

事會は午後零時四十五分散會、

を協議すること、なってゐる

リア國に對する財政援助問題

不安人氣

かつけたからだ▲此處

政府の感情を損ふだけざ、見極め

武器軍隊を

關外輸送

張學良の命令で

が 議席 ・元木陸相の訓示、帝國軍隊 はないさ考へるのだ◆参謀長會

絶した▲隣邦浦洲國の好まの事を

式(展開)

1000

はんが為めに露領通過のバスボー

兩國の精神的、經濟的提携が目的

呂田修氏等近~來滿

砂金採取研究の

派遣生は減員か

滿鐵重役會議の意見

見たので、更めて派

名の派遣は多

(天津二十一日發) 山海陽茂郎に 性えて農州並に山海陽方面に輸送。 を見の命令で今回九門日その他を 単見の命令で今回九門日その他を

して居るが、一般はなほこれより おればならぬ、筆ひに勝の三及一志八片二分の一唱へた出 は勇猛だけではいかね、 日より二ポイント安の冊一弗八分 健陰・清水図框の副方

義でなく、理想を行ふのを主旨されればなられ、罪ひに勝つのが本

技術局にて立続再

経由語かに関外に向け出動しつと

その數量は大體治學他二十門

・ きめっぱしれ寄鼻野米三十一弗八分 人 ・ かの一、野英一志八字十六分の七 せ ・ かの一、野英一志八字十六分の七 せ

比較において質に二千五

展示特電二十一日發」早科田大 大は近く日滿級者を創立し粽舎館に 氏は近く日滿級者を創立し粽舎館に 氏は近く日滿級者を創立し粽舎館に 大は近く日滿級者を目的さした大

り 十四日 総野市 活躍地事と同道渡滿する管である、この中心人物は空。 で、行の日本野市清耀地事と同道渡滿一 流電製家であるが、宮田、梅野・麻 には実験終いるが、宮田、梅野・麻 長春において薄儀純政を始め新國 家要人と會見、熟練を遂げ静京と で、行の日滿協會を解立するのは、

なった

露領入りの 查證拒絕

勞農外交部が

制機裁奥地田張を前 た、次いで銀道問題で影議することとて技術

に就て歌議、

關係事項を打合せ同六時二

活液になるもので観られる

支那軍隊で同様だ、 萬一そんなこと

北平救國會の

排日貨運動

れにより開外義男軍の活動も又

【モスクワー十日養】職監調金製 一行は満州里より監鍼チタに入り 一行は満州里より監鍼チタに入り こより松花江を越へて満洲に入り こまり松花江を越へて満洲に入り できる水部を訪問すべく旅物の はこれを挑戦されたというエート外交部 はこれを挑戦をなったがソヴェート外交部 ハルビン出發 イラ

英が委任統治權を放

北平十一日襲)北平各別抗日教 同會の日貨機査は國際職監調査財 の飛平に際し一時公安局の指示に の飛平に際し一時公安局の指示に

『東京廿一日發』廿一日の東京為

煎れ穀到で

産

大豆昻騰

東京為替市場

市

聯盟理事會が

机台を解く宣言

低統治権を放

クの獨立

一日滯在し調査豫定

ハルに到着

| 岡平天下さいふ語の意義は遊にあ

さするの秋、吾々日本人は彼等

り揺集されるが當日の附議事項はは監報の通り二十三日午後二時よ 三、第二十四號議案 大連市中央 入金の件 入金の件 水受の件

事會第九號議案 寄附金

本客に、**圏欒に** 無上の歌待!!

市参事會

一十三日招集

○定期後場(銀出)

丸岡糸店



培養されたのであらうご思い は養されたのである。 はら 平和髪好の美性は である 歳に はら 平和髪好の美性は 香郷一谷の來煮は中止に決しハル 【チチハル二十日發】國際聯盟調 【ハルピン特體二十一日發】リット

流形を変した。

一部調查團

四、團結心に就て

念、即方部家の概念は鑑めて強い に根強く植えつけられて國家観念 には、野方部家の概念は鑑めて強い が、社機観

を那民族性を語るに際し、いひを那民族性を語るに際し、いひさは我國の「男の額にかゝる」ささは我國の「男の額にかゝる」ささは我國の「男の額にかゝる」さ

支那人のこの面子尊重の心理は

後、領事競地権の散転、外貨排斥。 能自敷を儲して、開税自治権の拠

政治もが順子が支配してゐる職項引もこの値子を以て行は 子を以て付け

会安局に難しこれに関する議職を で今後は日童の檢査を膨重に行め で今後は日童の檢査を膨重に行め こさも敢て珍しいここではない 支那に私雄の多いさいふのも一 つには帽子を重んする結果公娼されるを厭ひ、遊客も水公然と公姑 この他、支那人の日常生活すべ 街に出入するな嫌悪する気ではあ

を極めて居るので二、三日來の強。 を極めて居るので二、三日來の強。 をかから燃化しよりつき點米冊一の きみから燃化しよりつき點米冊一の かった。 を表からしまりつき點米冊一の かった。 から、 を表からしまりつき點米冊一の のでは、三日來の強。 を表からしまりつき點米冊一の あり電質地に見送り出會ひなかつ の電唱へに始まつた間もなく野米 一分ノー野栗十六分ノ七さなり質が 1 という 1 という 1 という 1 という 2 とい

日本軍亡び、 二三二八八〇 三三五二〇八〇 三三五二〇八〇〇 三三五二〇〇八〇〇

ドイツ製 最高品 壹萬打

生

ミシン針 壹打 金三十五錢

NAC DIVE の門事跳御染別 白染京紅丸 - 環通橋養心衛鎖速速大

満日社印刷所

早極科醫院 電話三三六七番

ハボーツ薬 サロメチー

式(長期) 一五七十〇 一五七十〇 二〇六〇 二〇七〇

N で然かも効果的な治療方法はない。といふ時サロメチール懐擦ほど、ア 練習にも試合にも忘れてならぬ敷急要 練習にも試合にも忘れてならぬ敷急要 指を笑いた、関節を捻つたといふとき 用ひた後の爽快さ! は軽く、養陽力は體如として旺後す 筋肉は活破に脚

足を挫い 打撲をした、 肩が凝る

九九五五

六八一〇

西門三〇

梶田小兒科醫院

滿洲總代理店 新監部通七四 GILBEYS DRY GIN 電調 八〇三番

友會は先づ後任總裁を鈴木内相 現内閣は全た決定されね。此際政 時間はまた決定されね。此際政

他全な思想を養ひ」 云々は誰しも考へるこまではかまが、此れ亦其方法の如何が大問題なのである。而して更に重要なこさは之れが為めには、國民生活の安定、政界の淨化を前提さするこまである。此二者の目的を達しさへするならば、思想の悪化は自然に防止し得る。既に思想の悪化を防止し得る。既に思想の悪化を防止し得る。既に思想の

要するに鈴木建裁の稱道とて
政友會の今後の方針に為される
所の鳥めに緊要なもの而已である。凡そ今日政黨無力の原因は
政黨が國民の物質的並に精神的
生活より離隔して存在する點に
生活より離隔して存在する點に
生活より離隔して存在する點に
と活より離隔して存在する點に
と活より離隔して存在する點に
と話と政友會が此の五項の

明であるが、野方生は第一世等の政局の帰機如何には領着此等の政局の帰機如何には領着

内以行十五

すらさは傷中

それこそ際災に値ずたしいが仕事がより

事ださ思

◆桃はせめて象の熱質値を見せる

りして児童な体験する人なき母と等の方々は或は家庭の事情よ

た 大連市特別會計中央卸費市場經 ・ 七、第二十八號議案 様算追加更 ・ 正の件

豆 粕 一七〇〇 大豆(裸物 二十車 出來高 二十車

言ひたく

の敢て學

カス見物・

甚だ疑はし

兒童とダンス場

東な後七位に叙したり、之れが 等なるものも、亦古き題目であ る。 従来政府は、學校の左傾分 子を取締つたり、又は吉田奈良 がある。 後来政府は、學校の左傾分

小況材料の三重奏で

◆式る十三日郎ち金曜日の日だったが、小學校常局が明合せなもたが、小學校常局が明合せなも

一百萬圓の赤字

滿鐵六年度決算發表

時半頃の像定である時半頃の像定である

時をなすかも知れれてなほ一行の職 には滿洲國際から一人さして職頭に は滿洲國際から一人さして職頭に は滿洲國際から一人さして職頭に 出理へ見送りする者もなく一行は 新聞にも滅むげであつた『長春電』

長春に歸來

十分發率天に同び専門委員は十一十分發率天に同び専門委員は十一

◆娯樂の場に行つたのか或は又他

サーカスを見物に行つた事党が遊園下の廣場にて公蔵中の水下

飛され事性で埋まった。 のではないだらう を駆けて年の行かない を取りたさ云ふ事が を取りたさ云ふ事が で埋まった。

◆言ふ送もなくダンス會開催に就

て頂きたいと思ふのであります。意義よりもて今後同行は遠感し意義よりもて今後同行は遠感し

立の一四六、六〇

一致り許可せられたる

由で鞭を対す あるが見物の あるが見物の

か?。十三

◆五月十五日昭満日夕刊に遼東ま テル七階に於けるダンス會開催 原告の歌事中學生及び未成年者

◆私は自我を捨て見童愛護と云ふであります。

二百五十萬見書を支出し民間配書 ・ 一千十萬圓政府が原籍り英貨億利 ・ 一千十萬圓政府が原籍り英貨億利 ・ 一千十萬圓政府が原籍り英貨億利 ・ 一千十萬圓政府が原籍り英貨億利

世十一日午前七時十分(ハルビン時間)特別列車でハルビンな出養し 下季覧及び醸製の大部分は午後二 下季覧及び醸製の大部分は午後二 ではおが軍警によって搬頭 で、ルビンな出養し で、地で、一行はおする。 ではおする。 ではオマトホテル に依然、同三時半特別列車で南下

十時、無事が天養、直にヤマトホ聯盟調査委員一行は二十一日午後

は部屋に入り直にヤマトホ

ふ休養

と約三十分に互り論学行はれたが 市代表さの間に圖磨關稅問題に開 市代表さの間に圖磨關稅問題に開

産

奉天到

加入國の前途を破職した、次いで 加入國の前途を破職した、次いで が勝応を理事國代表はいづれら新 がよいでれる新

人は戦現されるであらうさ委任統

クの批准あり次第同國の

武漢排日運動

ととさなった、師ち在宣言草案が

ある

●大森吉五郎氏(滿鐵理事)青調 生演智統監のため金州出張中の 生演智統監のため金州出張中の

九九七五

一、七六五〇〇一、七六五〇〇

は総の

お、践話會な際能して目的

政友會の五

大

るのは、抑も無理

交渉を保つに至り、其勢力も自 局は紛々たるものがある。後継然に増加するであらう。目下時

然と娛樂の為に見なれて行ったかは私は

かつける事は非常に聴影響を及 に利率性の者が酷使されて見る で同年性の者が酷使されて見る が、その見物して居る小學生

都度小學兒童をホールに同行す大いになつて見るさダンス會際艦のス

十六號議案 基本財産操

な事は無像

其實現に

のである。要は自ら之れを敗め 得るや否やが問題であつて、國 民全體から云へば、政界淨化の 方法ご實行如何が問題ごなるの である。

社

說

ドライジン―優良大廉賣

大豆(裸物五二五〇五三〇〇 高保(俊込五二五〇五三〇〇 奥地市况 の西に図の

ケリビス、ロンドン

さしての複雑氏の禁患が語る

一二度お父様について、 た年星ケ浦へ住んである。 先年星ケ浦へ住んである。

ていった事したいのた事

ゴルフに限らずお父様はスポーツ

前滿線總裁さ伍
霊鴻線理事から
きな箱を指さしました。中は山

を大連総合教會の熱心な信者なの を大連総合教會の熱心な信者なの を大連総合教育の熱心な信者なの を大連総が立教高好の御出鬼で、芸

都合でござひますわ

マ紫の天意絨で拵へたすさんでごして味の間の横

付病退治でゴルフ黨

毎晩お風呂の中で長唄を唸る

語る榎森正子さん

公さ

ŧ

9

<u>=</u>+

+

る人は『挿腦1』の様な形なし家庄などの派岸に遊んだこさの

老虎灘

の海道や

職り一数も早く速かに取除いてや ・ 本幸なる襲つた出來事な、出來る ・ 本幸なる襲った出來事な、出來る ・ 本幸なる襲った出來事な、出來る ・ 本幸なる関語に不適當なる育見法

すが、然し思い、も野に於て

と果して内質共に强國さ

我が國は今や世界に於て六大婦

しての機能を完全に持して行くには極くなる方面に大に努りました

乳

兒

CD

玉

介

世界の朝の鐘はC

の太阳

陽は靜に

昇る

手

よ

らさ

るさいふ事が真の育兒の源である

弱肉强食の労 その中に床しい仲間

千姿萬様の奇態を演ずる-道化者・海べの生物の タマキビや優美なヨメガカサ

の概くさどく岸の厳に隧道して、 はまトく愛想を盡かし、波繁吹 はまトく愛想を盡かし、波繁吹 巻貝類も無いではありませ 生活をし

リ…(大連第一中學校小林勝)ゆかしい此等の中間なのです…終 逸香 マルボーロ 人造豆 店商屋路

て居るのであります

掃闘与少女のかぶる機能さ言つ お言葉であって其の戦艦に少しも 腫れて居らの場合が多いさ信じて に対しも でいるかも知れませんが、之は単に表 るかも知れませんが、之は単に表 は実験美句は子供の愛護標語であ

する乳が見の死亡率は第二十六内 数字を以て増加し、食料問題も叫 数字を以て増加し、食料問題も叫 はれて居りますが、出生百人に響

0

ります、然しそれが実験に可愛い
さ言ふだけでは皆目能であって非
教育的であります、此に親たるべ 城いものは總て可愛いものであ 居ります。呱々の聲を駆けた

代を強固に建設すべ

一過ぎの

...

本社編輯局調查

和日本戦略論

の軍日接ず日 撃事本衝し支 を通一或て事 時四平近電終 の氏民しのら

平田

合衆國論

田所

◆世界鳥瞰

能な、或は悪寒事業の呼びなく 能な、或は悪寒事業の呼びなく に必然#性保護の實際化さ言ふ間に必然#性保護の實際化で育り、乳が見保護さ共に必然を持て育り、乳が見保護さ共

待望の

五月祭

大森医院

よ数びの日を

世界民族建設の實際運動で

れた年に一度の光榮の日です、よろこびの

親達の此の不注意に依つて死す

此の不名響なる世界最高の乳焼をいていません。育児知識の小さればなりません。育児知識の少さればなりません。育児知識の少さればなりません。育児知識の少さればなりません。育児知識の少さればなりません。 る子供の原因は大別して

さいへば何でもお好きでおい頃

いらつしやいまし

国ボテルにて

的祭ウ本本ンれ注 セをラ本國ニる目 ン掲に民主新ト焦

嵐の中を行う世界恐慌の

詩の發生及び展開 ◆ウルトラ・オシャカサンの歌 氏衆賣藥論

お嬢さん ふしあはせな人なち

物金被心新

相

司

柳原燁子

命論

果では? 果では? 果ではそれのである である

平田内藏吉

美

々人しりざで出てしく可ず出

宮島信夫 輝明 歌の朝の民國本日 草木と 1/1

生活と詩歌 ダブシーの ころ 阿部靜枝

晋策 女も 社

東京の海に取った或を女性が…… 単八夜の作しい温泉地にボッカッカサニア・ 神製なの作しい温泉地にボッカッカサニア・ 神製な。こつ持つてある。そのは が製み。 會を 「ものからゆる方面に創 石丸喜世子 小 小寺菊子

五 錢

日本 女性 堂々六百頁 つき

卷别

魔話五六四九番 店 建鎖海京橋通 るつのはさ

一の日本

紙の

日本國民は全國書店にあり

本人分級明さは無い作本人はとに確れかい。明明には行し飛とたら短ば地には行し飛とたら短ば地を受けたびとは、なるでに気ながら、からで、一手殿儀放生の人

曲盘

中

村

吉藏







新明きよ子





成ってゐます。また脱縫はナギナとのさして古くから費神の食膳にものさして古くから費神の食膳にものさして古くから費神の食膳にものさして近り、具気も美しいので色とは無工されては近具や炭峰品さんであるます。また脱縫はナギナ 同種以外の貝組などは最な事際に冷血無いの具地などは最なのででは無いの別突張なのでは、一般にの別では一般には一般を見れている。 たことでせう。これはアカの打ち上げられて居るのな だら成るので、概驚人間 養物を押へつけて口の直下から、そに接觸2つき呼ばれて子 の役にも立ちません。彼は離り ので良く見られる里字に良く供た締がとく挿聞もとなざら終に供合はのアまと、東京のイモガと〈挿聞る〉や玉をは、かとく挿聞る)なざら終に供合はのツメタの、一味がある。 では、東京の「井里で、やはり彼等の一味 一年くのだから、其の遊戲さばお上つてゐる見版を繼續無盡に指 こそ災難で、数ら数な閉ちても何はツメタガとに見付けられた二枚良 吸血鬼はのです

日

は頭まし、一張うどと、かれては家称に慌しいお世綴ら、お嫁さんもは盛むしてというのおいでを待つてゐます、かれては家称に慌しいお世紀の準備の出來たグラウンド開會は既報の通り午前十時て、萬般の準備の出來たグラウンド開會は既報の通り午前十時で、萬般の準備の出來たグラウンド開會は既報の通り午前十時で、萬般の準備の出來たグラウンドは頭まし、一張うどと、かれては家称に慌しいお世綴ら、お嫁さんもは盛むしている一つの名に結ぼれて、 プロくと引きずるやうなやかに難り舞はうではありませんか、 かセル程度の輕痿か、さつばりした洋装位でお出かけ下す 萬事手軽な用意でお父様し

焼の雑務から開放されて娘時代の頭かな氣持にかへつて緊高らかに唱び、

と引きずるやうな盛装よりも質素な着心地のい

兄様もお祖父様も今

重詰も却つて邪魔物か

小さいお子様がおつれのがはお子様が迷子になっても困られだけの用意を希望いたします

特別では、大学などはいかごの位 関連ですが何か調子がになっているのは多少 を主さな仰言つて、當りのよから大分お天狗だつた事は確か で、自分よりうまい人はないやで、自分よりうまい人はないやで、自分よりうまい人はないや 大学なこさな仰言つて、當りのよかつれ目など、大学なご知ばないででではまいでではないでもそのは多少 馬遅くさいのな我慢すればよいのですが何か調子が聴くて思は とい言りが出なかつた時など、大学など様のごきげんかともるのに多少 とい言りが出なかった時話が大学などはよいでですか何か調子が聴くて思は とい言りが出なかった時話が大学など様のごきげんなとるのに多少 を表もしたこのに多いた。で

手に茶や粉桃をなさることもごというがひまな時には店の者をといらつしやいます 間位は如何にも無持よささうにお風呂にお入りになると必ず 好きで、長唄は大分前からお つたさうで、今でも野球などに 湯の中で唸っていらつしやい

或は店のお仕事で

評時藝文 計劃經濟。金幣

曲井上生之功 時末作を使って 現實。本幻想。本 松山氏の下駄器調整 財界の行 又學雑成既の文道内に漫步 く末 近松

あ可きか? 吉野子士 :: 高木友三郎 眞 正宗 杉 白鳥 靜 枝 --グンヤギ

秋 江

就鬼女房土師清二 大大鬼女房土師清二 未亡人と思っな 本藝術の寂りの科學の王座 プの 0 \$ 万 森 紀 里野 平 本 敏 規

各纸



公主嶺の將來

弘禮職 大岩峯吉GD

以上申述べた客種のおたる原因 ち其の際来観し如何、第一が交換の ます、騰潔電なき楽歌が正貨であり

敷設銀道な向後ごう軽替するか、斯様に甚大の打撃な奥へた支那側に

で、自然質質の註文が激液したのは現大洋葉が、砂葉になった、此の問題は経野に融資の方法が考へを地に軽すなられます。

「中す装したく世界的心臓が、でもの関係は大多にステーブルであると考へられます。

「中す装したく世界的心臓が、でもの関係は大多にステーブルであると考へられます。

「中す装したく世界的心臓が、でもの関係は大多にステーブルであると考へられます。

「中す装したく世界的心臓が、でもの関係は大多にステーブルであると考へられます。

「中す装したく世界的心臓が、でもの関係は大多にステーブルであると考へられます。

「中す装したく世界的心臓が、でもの関係は大多にステーブルへの出趣り高は二十四、五萬米場でものであると考へられます。

「中であると考へられます。」

「中であると考へられます。

「おりません、一般では、一般では、一般では、一般では、一般であると考へらないます。

「中であると考へられます。

「中であると考へられます。

「中であると考へられます。)

「中であると考へられます。

「中であると考へられます。

「中であると考へられます。

「中であると考へられます。

「おりません」)

「中であると表情である。

「中であると表情であると表情である。)

「中であると表情である。

「中であると表情である。)

「中であると表情では、まます。)

「中であると表情である。)

「中であると表情である。」

「中であると表情である。」

「中である」と表情である。

「中である。ままずる。

錦洲にも乘合自動車馳る

特産市場と

愛見を出及で

返へす及で自殺した男

妻が入院の奉天醫院で

H

師と遭遇激戦名譽の戦死を遂げた 【本鑑湖】 曩に二密河口で大刀倉

坂元警部遺骨

鮮農達再び避難

新濱縣から廿四名

耕地を捨て

北陵と

手不足に

般の入場許可

有料参拜者に繪葉書

二十二勇士の英靈を合祀 鞍山臺町ゴルフリンク山頂に

故鈴木伍長

參議改稱 奉天省公署の

漁業最盛期を狙つて

しきりに跋扈

沿岸の住民二千、蓋平

信に伝命した、又秘書も定戦を八 後り從來の泰議を泰事官に改め金 をり從來の泰議を泰事官に改め金

活象を呈しつくあるは既報のごさは最近療漁斯に入り郷液側が面には最近療漁斯に入り郷液側が面には最近療漁斯に入り郷液側が面に

約四千の匪賊團 鳳城に迫る

徐文海軍討伐を準備 民漸く安定 北山城子居住

しきからて治安を維持し安んじてで最も重大な激素があるので何で

に化け

久保田工業所

蚊とりには 蚊取りの

五日現在百四十九月、一千七百二 空家排底し五月に入りて宿屋営業 空家排底し五月に入りて宿屋営業 で変を排底し五月に入りて宿屋営業

佐いてゐる有機である**駿**格局に於
焼いてゐる有機である**駿**格局に於

丸久ウド

とき戦徒の探滅には文字通り業をむれば群がるさ云ふ飯上の蝿に等

の作は天土の

の一時動揺した市民も悪次袋定し れば其の後大万會睡襲艦の流電盛 人に流布されたが繋が駅電なるた 寬何縣城内を

鐵嶺の猩紅熱

匪賊占領

電影観光の角め行動出来す至急環 半日好、愛園、五龍等二千名の大 半日好、愛園、五龍等二千名の大 半日好、愛園、五龍等二千名の大

は野蛮のみでなく大人の患者も二、といっないのかでなく大人の患者も二、というないのないでは、大人の患者も二、というないが変になったが変に対している。

【奉天】逝く裾か追ふて愛見さ自 絵の出り版丁で一突きに観光せむ 概を感じて行歌を織げてゐる中窓の年報を纏つた男……本籍総解 め、返へす及で自分の第四版音を に経験つのつて入院した。史活の5の生命を絶つた男……本籍総解 め、返へす及で自分の第四版音を に経験つのつて入院した。史活の5の生命を絶つた男……本籍総解 め、返へす及で自分の第四版音を に経験つのつて入院した、史活の5の生命を絶つた男……本籍総解 め、返へす及で自分の第四版音を に経験つのつて入院した、史活の5の生命を絶つた男……本籍総解 め、返へす及で自分の第四版音を に経験つのつて入院した、史活の5の生命を絶った男……本籍総解 が、返へす及で自分の第四版音を に経験ののつて入院した、史活の5の生命を絶した。

初發以來二十四名に達す なほ蔓延の兆あり 業^學校生 二十

イマヅの

特許

大阪大仁本町三 大阪大仁本町三

伸婚禮其他數送迎御宴會自以是非教養

蚊取線香を

敦賀町

食堂満

サービス…是非一度…… 日支 英 料 理 さ 献 身的 日本 英 料 理 さ 献 身的

短取粉を

備へて置かねと

どなたでも

申されます

急場に困ると

難ばかりでなく

石炭商·倉庫業

東部の二三四番・大連沙河口黄金町10五・大連沙河口黄金町10五・

けなく全滅

シュークリ

THE ON THE

運物用折詰關製

虫でも

悩む撫順署

脚城連排に置り塔尾巡査以下巡捕か を極めてあるが、折柄二十日號の

統制を受けた佐々木が事も未だ人に調司法保はさきの事件で同様 息吐息の妖能 値上げか

以下出跡署長は一部

花柳界が 代の値下げならて

製造地方卸 出荷迅速 の確實な寺西で 御仕入は今スグに!! **建動用**品



蹴球に、陸上競技に、庭球に 旅

生みたて

各手足牛 種廻路力 有用用用

教します。 病弱者は… 山羊の 山葉

乳



知符發實所(大連 常園六八九 常園六八九 計

天津行

● 今治直行横濱行
● 今治直行横濱行
● 今治直行横濱行
・ (東陽丸 石月七一) 京橋 (東州丸) 六月五一(東州丸) 六月五一(東州丸) 六月五一(東州丸) 六月五一(東州丸) 六月五一(東州丸) 千月十二

海產物問屋 陸海軍御用達

新藤児島行(錦江丸 五月廿一日 新鹿児島行(錦江丸 五月廿一日 「佐物受護破行」 「佐物受護破行」 「佐神受護破行」 「佐神受護破行」 「佐神受護破行」 「佐神受護破行」 「佐神受護破行」 「佐神受護破行」 「佐神受護破行」 「佐神受護破行」 「大候兵他の 「佐川行」 「大候兵他の 「大候兵他の 「大候兵他の」 「大候兵他の」

||日清汽船|||出怾

キューナード汽船會社 海郵船株式會社大連代理店 部郵船株式會社大連代理店 日本、郵館大連出張所 日本、郵館大連出張所 大連市山縣通電話、七八四六番 大連市山縣通電話、七八四六番

大阪商船餘大連支

●專幅前技所(人連出縣護)
●專幅前技所(人連出縣護)

の大連汽船出帆

安東 行《柳東 五月廿四日 中前十一時《大連東 五月廿六日 中前十一時》大連東 五月廿六日 天津 行《天津東 五月廿六日 天津 百 行 永安東 五月廿六日 一名 古 庵 行 永安東 五月廿九日 一名 古 庵 行 永安東 五月廿九日 一名 古 庵 行 永安東 五月廿九日 一名 古 庵 行 永安東 五月廿九日

●三角長崎花、昭廣東 五月十日明明 (宋朝より唐津智港) 代理店(大連市須勝町) 代理店(大連市須勝町)

四北九州商船出机

危ふく顚覆

日

放送局

全性性の性、部門職合無談會の性、新年度の業績及び監問組合事務所に然て役、第四回定時組合員要請に関する性、第四回定時組合員要請以上の性、第四回定時組合員要請求の性、第一個の性、部門職合與要請以上の性、

奉天馬路灣の

建國精神宣

【鞍山】鞍山輸入組合では二十

鞍山輸組役員會

鮮角力大會 六月十八九日 妙心寺開眼式

『安東』年中行事の一つ満鮮相振 大食は底々乗る六月十八、九帳日 に真り中央公園に焼て開催する事 さなつた、毎年遠~南鉄、北満方 さなつた、毎年遠~南鉄、北満方 のであるが本年は事態後のことで 大質になったが、今回完成するに至っ 人でぬたが、今回完成するに至っ 人でぬたが、今回完成するに至っ 人でぬたが、今回完成するに至っ 一十二日午前十時から際眼

は天地山より天童稚児の行兜があり龍泉寺では開暖式並祈禳談話の り龍泉寺では開暖式並祈禳談話の 兒島課長來鐵 南宗派の畵家河上鴻立氏の畵會を 電燈普及映畵

畵伯畵會

國製

中四日午前十時から境内の世報 が京者春李大祭並に燈籠代後一時からは明郎婦人會養會式 後二時からは明照婦人會養會式 後二時からは洪然上人降誕八百 能念大法要を修め黒谷和讃率唱 記念大法要を修め黒谷別讃率唱 の接待、餘興に記念福引がある の接待、餘興に記念福引がある

黄家高浦町八九貫二、

合會定期總會出席のため本日午前室に開催さる、全浦朝鮮人民會職

大家 夏家河子海岸波打際一夏家和八、八、六地下室物能廣 本種 中家賞百覧より工門の七七 第六四七七 第六四七七 第六四七七 第六四七七 第六四七七 第六四七七 第六四七七 第六四七七 第六四七七

五日より二日間本天居留民會議

長郷在龍は來る

問武道競技を行ふ苦苦を見の改選を行い訳案を開き出

貸家 冷室附、實二十二

カニ十一日 朝來鏡館日 階別に同いた。 大学 一年 一日 朝來鏡館日 階別に同いた。 一年 日 朝來鏡館日 階別に同いた。 一年 一日 朝來鏡館日 常別に同いた。 其の他の世話で際艦すさ ガラス・金物・漆器類

三番通の 住宅移轉 不良

貸間 関節

る意味から云つても尚儒生上特に 智念を要するので警察監局さして ・経來非常に手古掛つてゐるもの ・経來非常に手古掛つてゐるもの

■天』十九日午後八時半秦天江 と島町四様可屋覧店機井製吉(き) 方へドテラを着た一日本人が表口 より入り来り指模帳場で記算中の より入り来り指模帳場で記算中の

人にアローニング拳銃ル突きつび、電では非常召集を保修を送るではかっている。

◆
富小學校訓察山田佛賞氏は山田 日語學堂長の媒妙により驚依城 公學堂長連田氏愛媛でより驚依城 では、一般の一般である。 進の審査終る

が入賞に近日中作学所及より散版 場、三等に運輸工場及続級工。 では、二等に運輸工場及統級工。 では、二等に運輸工場及統級工。 では、二等に運輸工場及統級工。 では、一等に所称課

四洮線の事故

ごてら男

質屋に押る 分で捕はる 犯行後四十一 後四十五 電地滿盤社員澤島職義氏の主宰了 大大武蔵會を催了由出版者は何れ 養夫武蔵會を催了由出版者は何れ を監地変好を兼打本年度の新假 を監地変を兼打本年度の新假 鐵嶺雜聞

◆高書管部補子集成氏型機みごり さんごごは糖減熱に配り入院中 のこころ十九日を死亡 る成績が駆かつたので明二十三 る成績が駆かつたので明二十三 を成績が駆かったので明二十三

中隊長から遠陽署長宛通報があつ を監さして脱ざるものと認むる被 無監さして脱ざるものと認むる被 無監さして脱ざるものと認むる被 があった。

様の集合家屋で都市の美殿を描す 「「「「」」を表しているが、而もそれが物職同 がしてゐるが、而もそれが物職同 では現在同所を一 には現在同所を一 には現在同所を一 京郷され尚人質さして全部抗致され、名は去る十五日戎克船貫三陣十八名は去る十五日戎克船貫三陣十八名は去る十五日戎克船貫三陣十八名は去る十五日戎克船貫三陣十八名は去る十五日戎克船貫三陣十八名は去る十五日戎を船

■男淳君八日出生

病發生

1野 商科警院

淋毒 七ミ 旅治が 地四六九二番

炎專門療院 ミック附添婦會

家政婦派縣一切 一日九十錢

派遣 店裏小路の萬春屋質店

大山通・ナニワ樂器店

金州一定期二回 物荷造 を何に

投資

金融小口貨出版

居中

小口・食料生邸北隣

古衣、及 トラ

越荷物運搬 電四九一六番

樞原正義先生創製

計画向關於

又二二番~

小荒物 ・ 大阪南風大賀寺町東之町 大阪南風大賀寺町東之町 大阪南風大賀寺町東之町 大阪南風大賀寺町東之町 大阪南風大賀寺町東之町 大阪南風大賀寺町東之町 大阪南風大賀寺町東之町 大阪南風大賀寺町東之町

清生 **醫**院

神經痛、胃腸、中風、ロ神經痛、胃腸、中風、ロ アンマ

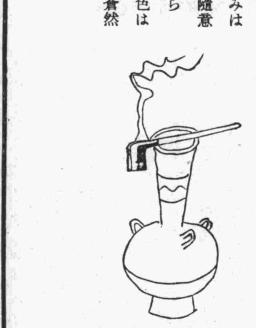
佐藤建築事務 電話国八九七〇番 所

電気 射来オスラム英斯人球 一種三〇一五・八六八八番 がは は 新進の 製料が治野の四九 を エーニエー三番 品質輸入 茶に優る 産 半封度罐 一封度罐 取扱 品(黃罐) 店 〇、六五 | 圖二〇 店 越









萬年 三河町池内電話八六七五番 調 律 師 大越男喜

博多堂ムラタ療院

Z旗作製献金 東京及事業計劃等な協議 で第五六年度決算報告略

来る二十七日繁軍能念日に作弊法 職業・1金四十國の献金を得たので職業・1金四十國の献金を得たので の排球戦 委代表活動

型の具體的成家を充実すべく協議 き考慮な評無に述べ一考かもとめ、 乗者救濟の意味における滿鏡側の 調査のため來安中の繋野率天公 一、大津峻の三氏は土地商租機 を東地方委員代表高橋真二、藤四 スエ

刀劍 斯白翰姆斯五斯

貸

商券

更印の御州命は

集 電話四二四九世

地方事務所家族會

解を以て

女女 変 婚職 貸衣 窓 日産

大連越後町四二歳島縣物産産 不

習字

邦文 短期養成 短期養成 琴古 流

※館権電四三○八英郎会 放凍成的英語教授が印象 が立ている。

告役員の改憲を行人脱数と称と伝えて定時標會を除儀勅論権護事業報で定時標會を除儀勅論権護事業報

日附布長に進級同日安東恵兵分除た石橋憲兵除住田憲兵は五月十七大石橋憲兵除住田憲兵は五月十七

憲兵隊の異動

なる季観道の試合を得つたら板津第四大隊長機関の下にら板津第四大隊長機関の下に

守備隊武道會

答が極大的風分除より成田憲兵者任の

郷軍分會總會

鮮人民會聯合

かロ 不要外目 の 不要外目

岩代町二二曜名 小切 最も敏波

六宮の相談もする

証融

淋病消湯に宇留神湯

日本編集局

築店 にあり

のみのコバタ 語 寂びた好みは こちらが蒼然 素より御隨意 お歯の古色は さりながら

 敷七六九一番 突番裏入り 貸家 古綿布貿易 古綿布貿易 面 輸 出 部

なんな何んで 使心此醫剃り

刀剃全安研動自一レバ

会社へ

閣書房へ意四三六二番



朝 ノ一服 かそ

られ

000

滿洲國政府 少年團組織 長春に本部を置 か

(可認物便繁殖三男)

「本天」 滿洲國政府は少年圏を組 を存に分部を各省に設備すること おり既に滿洲國童子 い を存に設備すること おり既に滿洲國童子 い 新興滿洲國の る、同人は長春に於いて窃盗な働いた際入手した手紙を利用し本人

率され二十日午前八時着炎直に長 で年學士連は所長窓木良明氏に引 ではれた訓練所入所生六十九名の ではれた訓練所入所生六十九名の することに決定出場選手は双方共に出して、 は十二日正午から鞍山に然て聯艦に大下聯艦 遼陽庭球戰 一十二日鞍山で キルム多数な取寄せ来る二十五

東にて離院監修局長前低加藤三吉氏後低 際原監修局長前低加藤三吉氏後低 東にて離院で展訪した、国に加藤 では、田子後五時五十二分養列。 帝理事関野光遊氏が出席の答って開催の定時機會には開展輸入組合職に 大月四日満洲輸入組合職合會に 大月四日満洲輸入組合職合會に 大月四日満洲輸入組合職合會に 大月四日満洲輸入組合職の答った。 新舊郵便局長挨拶

て立つお役人の卵――内地各地

お役人の卵

郷軍分會年中行事 大時より苗剛池畔に然て家族さ 大時より苗剛池畔に然て家族會を 一大時より苗剛池畔に然て家族會を を催し機擬店等あり一日を家族さ 山小學校代表選手十名は池田教師本天に於ける日滿聯合運動會に秘 小學校選手奉天へ

= 月

財源捻出策奉天市政公署

九組七個ゲームであるこ

滿鐵の慰安車

一数時に亘り財政會議を開催した。

職員が至地方日滿人の馳安龍した 要車は六月一日孤家子、二日李禄 素さな振郷では在剛羅権内に依車 東京な大田・一日和家子、二日李禄 東京は六月一日和家子、二日李禄

五

清銀線育會大石橋支部では今回駅 即の開教師の來程な求め廿一日午 記の開教師の來程な求め廿一日午 後四時中より滿銀道場で指導標古 を得ふこ 柔道巡回指導 憲兵分隊移動

石

古着所は進具 古着特別高 フョニ新 不用 品篇簡單 電話 六八四一番

は 大連市深速附五丁目二百一番 大連市深速附五丁目二百一番 大連市深速附五丁目二百一番 早川と科院大連市西通九三常盤橋附近大連市西通九三常盤橋附近十一番

リチャーの 光連市都在井田祥行



日寒 三拾錢增

ミシ

家政婦

・ 原名か又は佐藤電氣南倉 ・ 原名か又は佐藤電氣南倉 産紙 改良の で 大連市西通三五番 第一条 の御用は 白帆 天朝 統は此甲 は此甲に限る に渡お使 香地大連案内社等多数有り四千

大連案内社の関連に金融 大連沙河口大正道八五 三共高智 不思議に良効くお試めれ

大連市豪川二番地奈川ビル 大連市豪川二番地奈川ビル 大連市豪川二番地奈川ビル 大連市豪川二番地奈川ビル 大連市豪川二番地奈川ビル 大連市豪川 明五七番地電話二一人六 医麥 淺野 静一

請の一根大等等上致します ・年齢別による運業の盛衰・年齢別による運業の盛衰 鵬運命鑑定



大連新職及び我社後援の 新志能、大連新職及び我社後援の 野師司會滿洲總支部長編島五郎氏 都志能、大連新職及び我社後援の 野師司會滿洲總支部長編島五郎氏 都志能、大連新職及び我社後援の 野師司會滿洲總支部長編島五郎氏 野郎司官「獲身骸趣の程」と断し 大連新職の 野郎司官「獲身骸趣の程」と断し 大連新職の 野郎司官「獲身骸趣の程」と断し 大連新職の 野郎司官「獲身骸趣の程」と断し 大連新職の 野郎司官「獲身骸趣の程」と断し といて開催したが會衆は非常な掛」て時局重大の抗構在諸同胞の骸む といて開催したが會衆は非常な掛」て時局重大の抗構在諸同胞の骸む といて関催したが會衆は非常な掛」て時局重大の抗構在諸同胞の骸む といて関催したが會衆は非常な掛」で時局重大の抗構在諸同胞の骸む といて関係といてを表現を示した。 登支那事態無幾軍人後援會滿洲總支

日満提携を力説

別の立場に就後の五分間」と即じて後「粽に配後の五分間」と即じて後「粽に配後の五分間」と即じて

- を述べて力談する處あり、更に今、 御選話等を決談しなほ客種の別解、 に就て明治大帝の御遺薬、御苦心

た終り、直に登記機典式を祝ひ事 さる和やかな情報を現出し三時過

興味をそゝる海軍記念日

嫉職和の理想を処實に示し替て見ず熱心に見物しスポーツによる民

塵を挽いて凝々たる中を物ごもせ

堀内中將熟辯を振ふ

える歴史の説のかげ

なに恐からう

大連民政署では管内各小學校に於「百五十六名の城加を示してゐるがはる本年度入學の兒童戲が一般に「然かつたさ云ふので、その數字を「結婚かつたさ云ふので、その數字を「然常調會中であつたが四月一日現」「西四十九名減少を楽してゐるその概念に於ける全校兒童戲は一萬四十九名減少を楽してゐるその本に於ける全校兒童戲は一萬四十九名減少を楽してゐるその本に於ける全校兒童戲は「萬五十六名の城加を示してゐるが「大連民政署とは管内各小學校に於「百五十六名の城加を示してゐるが「大連民政署とは管内各小學校に於「百五十六名の城加を示してゐるが

のぼる朝日は世界か照らす

らす光の脳の色

日本単見の謄のいろ

にひらめくあの日の丸は

こんさごんさ押せこの施立て 照らす正義に敵はない

は正義に往くころ

日

海龍附近の輝南派出所よりの二十

朝鮮共産黨が

男子の減少が目立つ

今年の入學兒童

大連管内小學校の奇現象

あれる歓呼の焼のいろ 進みや青空仇霊奏れて

海龍附近の

一日階級告によれば製在の飲人部 家による九日ごろ無端共産無能人 家による九日ごろ無端共産無能人 を表しなこれに應じなかつたいめ に二名を製物したさ、また他の部 に二名を製物したさ、また他の部 はなかったいめ

鮮農虐殺

都で華々 滿蒙維新

· 發表

奉天の

建國記令

心祝賀運動會

たる一、 一、 一、 なるのであるが忠潔塔前では軍艦 なるのであるが忠潔塔前では軍艦 であるが忠潔塔前では軍艦

八氣集る滿洲國展の白木屋で

四家文子嬢が獨唱

日本ピクター管紋紫朝「ミングリング、オバアチュア」 【東京特電二十一日整】大滿洲國應八日目に「本社職政事集の「滿家維新の歌」
【東京特電二十一日整】大滿洲國應八日目に「本社職政事集の「滿家維新の歌」

中に生れたり新國家」を膨鳴するや諸場水をうつたるが如く緊張、この館をころばすやうな美勢を以て「珍瓏さして東の海より出つる日の光り

六時までに約六萬人の入場者を見た【寫眞は四家文子孃】

一等當選谷山つる枝氏作

慶應雪辱

A對零で

對明大二回戰

裏面『輝や/

西條八十氏作詞中山晋平氏作曲

吉吹込み

原明二回戦は三時半明大先攻に開 際明二回戦は三時半明大先攻に開 に東京二十一日登』六大巻リーク

男子 一四七 増 一八〇 生は 性別 生徒数 前年比較 無警告職水間題及び警告後の際水長春附属地は誤雑の如く飲料水の

午後に入つて いよく 盛況裡に第一日終る 季天の建國祝賀運動會

省内十七箇所の日滿小、中、好學 | 續けた觀念は午後にいたり徐々、 | 魏国記念職合大運動會の第一日は | 名により午前に引輸き各種競技

事にした、それは今事にした、それは今事にした、それは今事にした。

艦上の演習と

ライを歌ふ響滴な肉をはよ

「八雲」乗組員の は東ら艦内の作業及性 及生活状態を一

徐罪發覺

元海關吏の

お天氣は大丈夫

思まれた五月祭り

る三月上旬帰口は市内信濃町百三一烷で海軍記念日連鵬會を開催する場合の許成除野が養養した、去 午後一時半より忠難培前の廣場に復興されただったが、緩いて軍艦八震では艦長海間東川口千秋であば敬襲されただったが、緩いて軍艦八震では艦長海間を沿した。 爆破作業を行ひ、當日を記念する がて機然軍艦を中心に脱郷なる がて機然軍艦を中心に脱郷なる

護津町のボヤ

て日本海に出る一方線子汽下流に高氣味が出来たからです。付き、同八時過ぎ若草山の観測では先づ大丈夫とのこと、さける五月祭のお天無が昨朝來無選はれたが、今だから大分議

成を解く

午前十時、大連運動場

正九時に煙火三發で合圖します

愈よ五月祭り

昂々渓でおびやかされて 二浦環女史奉天へ | 「原座な全域で附近に延燃中である|
| 「東京二十一日教』午後二時代下 を 天電話 るやうに 説明 こてやりますり を 天電話 開場前で死傷なし 市村座全燒

性一粉 末 小間物店に販賣す 石村商店

金物の卸デパ

來るべき選手權大會の足調べに・・・・ダンスのスポーツ化!! タンスの夕 0 **□**0 **□**0 七階大ホール 0 100 レコード件奏 E

7.20 .50 2.00 1.80 1.25 6.90 6.50 .20..... .22..... .28..... .60..... セツ 9734

みの内に四谷南町の私邸に引揚た 野寛水寺津総院の長藩徹郷師外僧
日は午前十時から官邸日本間で慌 後早くも初七日を迎へた本二十一【東京二十一日赞】大義首相凶戦 比較し二百名の増加を示してる多かつたのみならず合計も前年に 故犬養首相 初七日 上野寛永寺で

首都景氣の 共同浴場ご建築用水を制限

不安を抱かせ申譯ないでは、からはいため仕方なく市民に今日のいた兵士が急ぎ到床を括りこれを助ったが本社の方で開いてくれ、り、例へば警急呼集のラッパを降

いた兵士が総き的床を揺りこれを整体原に乗めて陸戦隊所定の際装格が正の際装

危く殺される所

二十一日北市場に於て滿洲側底器 抗日敦國軍第七路便衣職長實珍は使衣隊長捕はる

就 日本各地名産 職確實 界各國 酒 高洲政府雇傭タイピスト規期等 卒業後數職周庭(保養法完而) 卒業後數職周庭(保養法完而) (現) ムーリクスイア 00

国な暗暗した外 無生町旅館事野崎 に外まるな支援は ないのでは、 はいのでは、 ないのでは、 はいのでは、 ないのでは、 はいのでは、 はいのでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいで だって母が心配してぬるであらうに定めて母が心配してぬるであらう 胚芽米 野州のよい

窃取されるるな發見大連署に属出らを頼九十九點時實二千三百圓を さ何者か合鍵で侵入し策等の中か 風墨六番地滿鐵醫院醫師水 産地の出切り

〇川場設計及製造技術無料應相談

コム製造機械(聖経典等 電話参川三五一六、四五二五十 クラー 高

十四圓

ホン

吳服非常大處分

商品の選擇にお送ひなさる方)は高ちにお試しあれて帰属でお困りの方がは高ちにお試しあれ 朝命望の方は郵券]」十銭送れ現品規定書送る 一百閏は一見に如かず 一日世は一見に如かず

コッキングス

石重

大阪市南區南海縣前南大阪市南區南海縣前南

海内間以上保証 永久的國会事業です 大電気 石油コント 瓦斯 万炭代金菓に時間の節約平 世界的大穀明カーボライトの出現で木炭新レンタンコーク 大の電気 石油コント 瓦斯 万炭代金菓に時間の節約平 大の田町で木炭新レンタンコーク 大の田町が大穀町カーは一日の損

器時期の耐久力を配り、

XX 源

希望者寫真履懸書送れ採否通知す

洋

販賣員採

最秀東京六〇一〇〇書東京楽院東京市多高田村町六七

東京藥院

IJ

ま

せう

にかく普通人の眼でないことは

「えゝ、でも、旅で塗ったのでは

| ▲満洲工業藤座|| 輕金屬工業||松浦||

八都山流本曲「若葉」松田玄山

父の在所で逢ったのです

おちい様はあないのですかし

けふり

連丁の私

午後六時十分

は人生の花で最も大明な物で幸さ不幸の分れ道は裏にこの鼻の恰好 一つである部年男女の内で 本常鼻本だんご 鼻 本 の 活動障害 師でなく自宅で砂糖に人の知らい間に鼻 の活動障害 師でなく自宅で砂糖に人の知らい間に鼻 の活動障害がなく自宅で砂糖に人の知らい間に鼻 の活動障害がなくなる新築特許の整点器を希望者に無料 では臭すハガキで申し込めば療法見本道是す で食臭すハガキで申し込めば療法見本道とす。

東京醫療器械製作所

超

ス

で

頭

痛をなはす

自力が上口~なる▲隆鼻器無料貸與▼

院

7

て何の花がマリ

ての値がだんく 見覧えがあるやことで、一下の値を見つめてが、する中にをしかれば、対が解りませんかしていた。マリアもそのではかがたんく 見覧えがあるや (291)

ンパロ西露

长. そく 解松尾 工具 排虫率

治療 仙庵堂

0

から

第

主催 事支 變那 **人後援會** 国国现义为其高 同五月二十四日

ムラグロプ

永 -000 0 凾 (ミルクチョコレート)

都劇船街士變變旋城

五月二十三日 映 畵 3 講 汇

撫順 安東 安 講演出演者 東 未 未 定堂

講演出演者

電話七九九八番 理化學用器 版會 影響 影 製作 大連市恵比須町区十八 度" 量表 0

気のきいた

家具设裝飾は連市伊勢町九

乳兒の泣 ・・・・・・・に御注意

乳兒の泣摩はその時々によつてよく注意せればなりません 即ち ◆お乳を欲しがるのか ◆のどが乾くのか ◆痛い のか ◇驚いたのか ◇苦しいのか ◇悲しいのか

發熱、便秘、腹痛、腸内酸酵等に苦しむ結 果の泣聲があります。總じて足を屈めて泣 くのは腹工合のわるい時に多いのです。

か」る場合には小兒科醫に診察を願ふことは最も 必要ですが、臨機の處置として全國醫家に最も廣 く愛用されてゐる

服用し易い …… むしろ喜んで服用する 整膓消化劑

ビオフェルミン を應用して下さい

- (ビオフエルミンには別末と錠類あり、知名栗店に販賣す)



負傷戰

0

慰·

問

金

15

ります

から

大外面投入面は全國菓子店・加盟新開社其他便宜の處にあります。

の割け合

森水で計算し

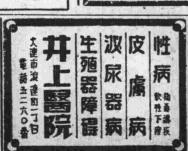
集った外面は大二重



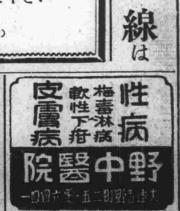














」園寺公 早くもあす午 大命降下は一 奉答 十三日か

十二日午後か又は二十三日さなる機變であるが、網膜大命降下は二十三日さなるのではなからうかで観測されて肌鬱重配方館全部で意見交換を停じ、深載の考慮を掘つてゐるが、風鶥の服勢に鑑み御下問に對する泰答は早くとも二いの観があり、聞公は二十日の高橋職機、意識論長、犍野内府等で會見に引鞭き、頭に二十一日山本館、潜槐民政継載、潜瀬館で會見、『東京二十一日登』聞公の上京後繁襲を飛じてゐた政局は今や混沌として政權の歸向俄に豫斷を許さず五里容

重臣の意見 園公本日中に奉答は困難

本伯を出馬せしめ政、民兩黨總裁を入閣せしめ他に第一流の人物を網種と舉國一致内閣を作つた方が良く 「沼氏は軍部 関係はうまく行くとしても、議會政黨政治の簽達もた今日果らて政黨を除外らてやつて行けるか 長、犍野內府等を招き意見な翻取らた、らから顧迅の意見や邀記必ずらも一致せず 長、犍野內府等を招き意見な翻取らた、とから顧迅の意見や邀記必ずらも一致せず 長、犍野內府等を招き意見な翻取らた、とから顧迅の意見や邀記必ずらも一致せず 「一致は全く」の情報に関られた器で、形勢電大を感知らた闘公は政局の勝趣をつかまんさ、昨日鈴木俸總、高磁藏様、倉監で居た處、十八日近衛公は軍部で鈴木氏さの総解成立を厳し闘公と政局の勝趣をつかまんさ、昨日鈴木俸總、高磁藏様、倉監工十一日登」西園寺公は事代謝登立共に東京の政情依察をなら、一方近衛公をもて情報を集め懐勢の見極めつき次第上京する手第二十一日登」西園寺公は事代謝登立共に東京の政情依察をなら、一方近衛公をもて情報を集め懐勢の見極めつき次第上京する手第

、刻下の急務は軍部の激發せる感情を抑へるにあり、此際平沼氏をして内閣な組織せしめては如何天下に人材を求め舉國一致内閣を作る 財界の危機に際しては高橋氏を首班とする内閣を作り高橋氏を無より脱退せらめ赤裸々の政治家さして殿く

観されてゐる平沼氏に對しては宮中方面に反對者ありき傷へられ、從つて本日中に

順元鹹の意見な觀取する事さなり、**両元帥に會見を申込んだ**総果、職元鹹は二十一日午後駿沙駿の私邸に覵公を訪問、制を如何にすべきかにつき元老さらて誅縄を如悉して散く必要があるため、陸軍の長老上院元峸、寮軍の長老東撤元嶼れてなく推應した模様で、賦公は後継内閣に関する河下間に泰容するについては軍部の處念を聽現するさ同時に 今後の軍部にその後繼者としては平沼騏一郎男、山本權兵衛伯、又は齋藤實子を局に當らしむるが適労能能だからこの際輕鬆療能で答方館の人材な線線と得る有力人物をして後継内閣を組織せるめ、時局を収拾するより外ないと所能能能だからこの際輕鬆療能で答方館の人材な線線と得る有力人物をして後継内閣を組織せるめ、時局を収拾するより外ないと所能 の事態は最も難局、又軍部の動向も コ戦事長さ會見後、左の娅く語つ は二十一日午前私邸において山 た 「東京二十十日数」鈴木政友會總 木穂裁さ政局善後策につき懇談し か、我輩は協力内閣さか、舉國形勢は頗る混亂してゐるやうだ

陸海兩元帥けふ園公訪問

4伯或は乗出すか

さる

「、二十日の會見で之を聞公に驚へたので、老公は先づ山本伯に出場の意思ありやを山之内氏に確むるものさ聴られ、山本館の際になから多大の注意が向けられてゐるが、牧野内府は時局收拾のため山本伯をして 攀國一致 内閣組織の意から多大の注意が向けられてゐるが、牧野内府は時局收拾のため山本伯をの食気に光立ち、山本館の後歇たる山之四一次氏を据く事は各族

政友首腦協議

新に野して米海軍幣局は何等言明を興へないが、 が直撃に対して大流者終了後十月一日まで大流

、該決定は國務長官スチムソン氏が過程ジュネーをが、海軍を会部は大西洋艦隊を包含する米海軍を会部は大西洋艦隊を包含する米海軍

平洋上に残留

数』百餘隻の艦艇で四萬人の人員

の大牛を包含する米海軍の根幹であって、

は今回の大流智に参加のため太平洋に強航令機智艦隊より放れるグスター競以下一萬順緩

の結果今頭の決定に至ったものと限られて

超然内閣は斷乎排撃 致し、山本館の都合によっては観公より出班へてもよいさの意味を解へらめた、よって山之内氏は山本館を打合せのため九川巻、山本館は大瓢館なるため観公も特に敬意を搬ひ、同館に観近の山之門一次氏を今朝九時駿河臺の本 型、同十時には雌山交機來游、鈴 につき意見を変換し、同九時学齢 を私邸に訪び本日の有志代議士會

若槻民政總裁、園公に力說

でないが、建義である以上者機

「ないが、建義である以上者機

「ないのでないが、建義である以上者機

「ないのでないが、建義である以上者機

「ないのでないが、建義である以上者機

「ないのでないが、建義である以上者機

「ないのでないが、建義である以上者機

「ないのでないが、建義である以上者機

「ないのでないが、建義である以上者機

「ないのでないが、建義である以上者機

「ないのでないが、建義である以上者機

「ないのでないでは、

「ないのでは、

「ないのでないでは、

「ないのでないでは、

「ないのでないでは、

「ないのでは、

「ないのでは、

「ないのでは、

「ないのでは、

「ないのでは、

「ないのではいいでは、

「ないのではいいでは、

「ないのでは、

「ないのではいいでは、

「ないのではいいいでは、

「ないのではいいでは、

「ないのでは、

「ないのではいいでは、

「ないのではいいいでは、

「ない

なき所能なが難し 若しくはファッショ内 は決して時局な医教する は決して時局な医教する は決して時局な医教する

公か訪問、滅下の政局はリニ十一日午前十時

若槻總裁語る

荒木陸相、 軍規、 大命に基く 軍律に關し訓示

電の動使命が削減 を ままり でき でき に 非子に 動に 非子に 動に 説明も、今後の方策につき協議した開する参議官會議、今後の軍の統部を開てる参議官會議會合の意味を 一十日午後四時軍事参議官會議後二十日午後四時軍事参議官會議後

在鄉軍人代表

陸海相留任要請

東京サー日登 東京府市在関軍 ・ 大會代表及び際優分際代表六名は ・ 大倉代表及び際優分際代表六名は ・ 大角無機の留低決論を手変 ・ 大角無機の留低決論を手変 ・ 大角に一木宮根及東 ・ 大角に一木宮根及東

民政前代議士會

【東京二十一日發】民政黨二十日 民政黨二十日會

ファッショ

排擊中合

協力內閣に反對 鈴木政友總裁語る

世の容骸につき兵站病院の軍警部る 十九日職貧血の外に腸出血もあったので輸血三百五を粉ひ二十 日朝更に三百五を粉ひ二十 日朝更に三百五を粉ひ二十

大將の容體 けふは稍小康狀態

画民の懐中具合。 画民の懐中具合。

移植民に就い 0 滿蒙

氏は「一番廉い旅行は文明利の収支が立たね」この話に野

辨當機帶

氏さ同伴とて、滿鑑會社の農

住在して居るやうに、世界の大勢本だけの原料生産地でして満洲が はさうであつたか知らぬが、今後を無視する人々はいふ、否今まで の關係が恰度さうであります、日 農民 業移権民で農産物加工で | の運命は決してそんな桃源の夢は 代の大勢は成るべく多

本されないのであります、野満政 げればならぬ、假りに日本が千葉の根本観念から論じても、日本 圏を機械費に支出しても、二千葉の根本観念から論じても、日本 圏を機械費に支出しても、二千葉の根本観念がら論じても、当本の根本観念が

特附品

荒木陸相に

重臣の動間相踵ぐ西園寺公邸 十日の総部會で時間 心見交換の結果が 聽取 憲政擁護 政友幹 郷内限は絶野 の意見 努力 政権に関家の 立憲政治を 題について 友會では二

黨政治死守 民政黨ご連絡、護憲運動を起すか は山本館の命を受け午後零時半上 東郷元帥で會見

ある

常制によつて後継 版の無難をとうで、 を会に軍部の て種々意見の変換をなした、存志 を動きなすさ こなるかも知れない 連絡を取り一大護歌連動を提する さままに強硬なる意思表示を含まる。 を受べ致驚致治を死亡さて しまるで、当ると共に強硬なる意思表示を含まる。 を表示をなすさ こなるかも知れない 連ると地であるが、或は氏政態さも 大きなない はると共に強硬なる意思表示を含まる。 をでいるが、或は氏政態とも たまななかも知れない 連ると地であるが、或は氏政態とも 大きなない はると共に強硬なる意思表示を含まる。 を表示をなすさ こなるかも知れない 連絡を取り一大護歌連動を提す事 を ける政友會有志會合

行ったが、この結果二十二日午前五時體溫三十七度三、脉搏九十三呼吸二十六さなり血色良く 味の整調正しくなり、懸念の必要なきに至つた、原因は持病の 胃酸過多症がこぢれて十二指腸 で恢復に向つてゐる 市役所退職者

務課長以下二十七名で退職金統八大連市役所の整理人員に大久保財 く追加豫算で 羽口捨次郎 大久保忠一 して市會に 電なきにあらす。 後職内閣組織問題の形態になまさ

深見 東市 景盛 東市 東市 東市

安協証がありさうなものだ。
の共同目的達成のためには何さか
で大時局打開にはいふまでもない

自慢ちやないが空前の起大乗業がおまけに新規の僭財(公債)が六五 る。
の憲政擁護が難立してるかに見え、衆の直接神法たる農業開發上のの憲政擁護が難立してるかに見え、衆の直接神法たる農業開發上のつであり、 、 來者も異日同音に自由する所であて、 寒塵のみの批談ではなく、他の滅でなる、他の滅で

大 正十一年末、クリ 千萬民衆の生命で財産でな支配を観れてけの印象に過ぎない、 アの収拾擴張に派遣されたオーンドの自動車會社から、ツラケ 農業に関して、何等の思索 併しこれ等の評語はい

> 主催 精工 舍 十形セイコー クローム側… 八四五十銭ョリクローム側…… 十八金側:

一コイセ型ーリバ 九形セイコー 十八金側……

八形セイコー 十八金剛…… 十八金剛…… 十八金剛…… 三十五日リアラチナ側……

三味胴型 九四五十億ヨリ 九形クサー

百四十五回ョッリー 一四コリリ

十七形セイコーシャ、ライ 十八金側 五 五国ヨリ

近衛公園公訪問、震要 ▲社會課 書記社會 同一 同動務

農具を何國に

熨

產

愛

用

本、滯瀬、都庭三龍臣で會見後、一本、滯瀬、都庭三龍臣で会見後、一本に経教し型下の事情を評し、一次氏山之内一次氏山之内一次氏

旅院及び軍部方面の懐黙を報告、 一日午前十一時隧河臺の邸に開公 を訪び後繼四脳に関する各政監費 の邸に開公 會計課 計課 書記會計 主任

新されて 関公の参考に供し種々無談を遂げ 財部大將けふ 齋藤子訪問 堀內中將動靜

本國滿洲の現狀能に今後

なは寮藤子は二十三日上京の筈では二十一日午後一時逗子の別邸には二十一日午後一時逗子の別邸には二十一日午後一時逗子の別邸に

大連港外着の豫定 大 に 機化さ、更にそれに 職件する と、機化さ、更にそれに 職件する と、機化さ、更にそれに 職件する

二十二十年後一時 「皇軍の行 世界の玉蜀黍産線四十億

披騰して遺憾なし。 萬ブッセル、震西亞及加奈陀よの三分二を産出し、小麥が九位

業に関する

交通機能や、礦山

さ、その加工改良に就ての素因のとながら、その根柢にこの農業産

る事に注意すべきであり

全國時計店にて

拾壹萬六千圓也

三笠蓍音器計

三百五百十十本本本

菓子セツ ダイヤ入指輪

千五百本 一五百本

計 産

五等景品(置時計)一個を贈上げと同時に抽籤券一枚と上げと同時に抽籤券一枚と 景品內

輸入激減

即ち四割三分の減額を示して居ります

時計程人都翻 武百四拾七萬圖時計權人都翻 四百夢拾九萬圖

1932 No.31

人宗祖降誕會 *滋本願寺別院

に反響書戦しるを緊張でする戦いでは、大を繋びる戦の攻撃を受けらがい際に五月十九日午後〇〇に於い際に五月十九日午後〇〇に於いいには、

【ハルビン特體二十日整】尹瀬乾

哈市を狙ふ

漁船を掠奪して渡河

父の訃報に

速走とた反吉林草の一部は十九日

する五月祭終了直後南浦工事ラグ 連市役所共能率社後級の下に際能不計を設めてに際能

憲兵加入の

事實なし

警視廳發表

歸らず活躍する

松浦鎮の滿鐵從業員

伐のため活躍中の我

江防艦隊

性的協議を行ふこと、なった性の協議を行ふこと、なった。

奥地への出動、

あるか判然してゐないやうだと無害 で0000だけハルビンに高飛し の後彼等は00の宿舍萬合公に行 共に日本橋通り市場食堂で會食電報が到着してゐたので午後一一日春天より歸長したころ 十五日附で

連を上

拉致邦人を

大連署と重大打合せ

部線において邦人二名を掠致した

西部線の兵匪

溝OO方面 聞に於いて海軍兵曹長一名戦死な 一名戦死し三名頁傷 像者三名か出せり【奉天電話】 の環境を残し奮戦の跡を見せてぬ

優勢な敵を撃退して

及吉軍の 敗兵

祭中駅、港町少駅は武運瓶く瓶は が置い旅で反吉軍のため射撃され が置い旅で反吉軍のため射撃され

した(寫眞は石谷中尉さ清田

銃劍交ゆ肉彈戰

全滿靑訓演習第二日

田戦跡に

送内容不許可

1

奉天の建國記念祝賀運動會

\火蓋を切る

の前にそゝられて押寄せた 市役所お傷本社後の

明朝煙火で

圖する五月祭

雨天の時は廿九日に

の五月祭の日

日に遊った。

定して、黎祝殿は廿日左の姫き養に懲兵か加入してゐるさの噂を否に懲兵か加入してゐるさの噂を否

伊通深神近に潜伏してゐる思映頭 は本中好の部隊より死を賭して脱 は事呼吸の書策してゐる原大事性 を報告し来つたがそれによると戦

なてはその戦約二百名に塗してある。 この部隊の参謀かしてあるもる、この部隊の参謀かしてあるも

待ちに待つた五

心配な明日のお天氣

には落着く

大和し組づかは

こいふのが一般

オサーカス へ氣の焦點

愛國五號機搭乘の

の劈頭大戦御歌と 地にまで延びて来て、二十一日出現の長山東さが乗り込み、ことは大連在住の白川東 模様であるが、この大きな波は大後も織々ダンサーその他が集まる ンサーだけでも既に百名以上にな 等を始め十和以上に上り、邦人ダ 素晴ららい景無に引よせられて今つてゐるさのこさであるが、この

小時着後に捕はれ

士自殺す

の方がロブを破つ 動の野頭大戦御聴 しから長海に行う一部けてるのだと 画の野頭大戦御聴 しから長海に行うて事態で踊るに 手の干五百メード 大きた意叙込みで長海に使った。 本の大き海に行うて事態で踊るに があるに があるとがに行うでいる。 でいるのだと がりと海に行うでいる。 でいる。 酔拂つて御難

永善茶園改築

本日自邸で職盗鹿で塗去した、李四の本日自邸で職盗鹿で塗去した、李四の

井開家不幸 大連地方法 住黒田周一少將はさきに來端、

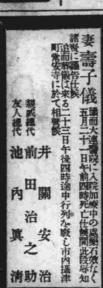
理まれ間楽樂さしてピクターでは新 が配にも可放り興味を貼て選べら が耐天の際には二十九日に起期す をが耐天の際には二十九日に起期す をが断天の際には二十九日に起期す るが廿二日舉行の際は午前正九時 に煙火三餐で合脳をするから注意 に於て執行される 十三日午後四時から攝津町常安:

北西の風 曇り驟雨 天氣旅载

滿潮(午前十一時三十分 午後六時五分 十一日午後一時速東中島一帶な暴風警戒 風湿かるべし、 **陥牌軍手卸賣**



けるの小洋相場(正午)



一時ごろ飛行機構や、高等施行を一行ひ脱急を表した【年天電話】

演習後東洋艦隊碇泊

デ盃歐洲戦

【ダブリン二十山嶺】 デ盃戦隊洲 ーン二回戦アイルランド野ハン

常中の處真正天然遵さ決定謝兵輔日属城口岡雄(二)は十六日養城手欄兵城口岡雄(二)は十六日養城手 では大狼狽が極めてゐる

タオル製品、ガーゼ洋傘、日傘、子供服、帽子、 全

品 製品、和 割より 田、和洋雑貨品、和洋雑貨 賣 割

3 ~品 現下げさなり、それでなくてさへ 一覧か抜いた場句が聴官の被脱料 一個五十銭となった調で、 人物費に売る一方で、建築の捻出 ・ 七圓五十銭、巡査は一圓七十六銭 睨まれた被服料 額下げに警官の悲鳴 五月分から観下げさなり警部補は 米艦來るこ 青島のドル景氣

マニラにある米國東洋艦隊が近く、バは鳴り歩に二日に取る流動とを がは、次の大兵さんを當て込み、既にロシの水兵さんを當て込み、既にロシの水兵さんを當て込み、既にロシの水兵さんを當て込み、既にロシの水兵さんを當て込み、既にロシの家を張る正午全たく終りを告して慰劳有となり、後の水兵さんを當て込み、既にロシの家を張る正午全たく終りを告して、ア人ダンサーマナービスガールがが、ア人ダンサーマナービスガールががた。 即に前景氣を煽ってを

『ウキンナ二十日登』 ア杯彫歐洲 リアは本日より懸行一日のシング ルスはドイツ二勝した

ガリー第二日ダアルスはアイルランド時ちアイルランドは二勝一覧 佐世保海兵團 に天然痘發生

館の上カフェー歩きで連鎖領ルナ七(雪)に二十一日午前一時ころ派 市內信濃町東洋商會外交員中村的

東京全事を観察され、この時体験のラッカの治無に頻照出来できた。 東田東京道路に 特別の 東門外一帯より設際さんと 東田東京道路に は相 南山屯部家を抜けて暖前の短地に 東田東京道路に は相 南山屯部家を抜けて暖前の短地に 東田東京道路に 東京全事を観察する に、 東京全事を観察する に、 東京全事を観察する に、 東京会議でもある。 東京とは、 東京会議でもある。 東京とは、 東京会議でもある。 東京会議でもまる。 東京会議でもまる。 東京会議でもまる。 東京会議でもある。 東京会議でもまる。 東京会議を表なる。 東京会議を表なる。 東京会議を表なる。 東京会議を表なる。 東京会議を表なる。 東京会議を表なる。 東京会議を表なる。 東京会議を表なる。 東京会会を表なる。 東京会なる。 東京会な 十八萬間で新築するに決定し二院で、鉄第命が出てから体業中であって今回製本政氏の名義で爆撃艇の コンクリート競の計画に助断つばるが近く大連書へ整領側を抵出

産婆に

ーサン人

SK. 208

大連實業野球團後援會布之通り三候也 日曜日)日

ーコレアビムロコ

銀鉛少女會の新作舞踊レコードコンサートで 三越三階ホールにて午後一時より

氣遊園音樂堂にて午後一時より 新譜レコードコンサー

ダンシング、パーテイド

遼東七階ホール 午後七時より レコードコンサ

日本藤東局

腎臓病に玉蜀黍毛

色は黒ても南洋じや美人この石鹼でそれが白けりやまだ美人ラ ラ ラ ラ

店舗改築に付き 引||

山本洋 滿蒙毛織大連直賣所

照枝ごのし

時の間にか提出の火を作えて

◇心燃ゆる女性◇また河合のお涙頂頭映画で

世四四九一番

滿洲口報社廣告

を相振いた二人。

て、酸れる悲痛なお腹の壁。

野も急はしく

脈け寄る途端、

明り伏せて

■に搖れながら騙けて來る繋だしま、折から遙が彼方の土手堤をき、折から遙が彼方の土手堤を

御用提灯!

作業は運身の力を込めて、ひた 押しに押して來る酸のみを、ガッ チリアから鍔元で受けてゐたが、

上半身を捻つて肩瞭

た奴婢の野投。

下して来るお殿の際単刀を心を掲げせず真明、た石から打ったい、えい、えいし

光がふつつりか

挺権の音が次第に遠ざかつ 消えて、漕ぎ下つて

月より十二日送に於ける統計はさ

合が悪く「インスピレ

題つたがけで素晴らしい

| 一般の銃撃。 | 一人を乗せた船の一般の銃撃。

日本映畵の

製作種別

各社の特色

を職業の「大連特進服」撮影が其 大日清館は6周行齢連ずるから舵 数ををつざける線定であるが、長

したのでないかと見られてる

が混合のお漢頭敷映画「小燃ゆる

央映書館が俄然客足を呼んる

女性」で飛び込み「愛園の母」

上滯在して大速附近な中心に撮

キューピーは

輸入品を壓倒す

連鵬着州車で帰連し、統一週間大本統轄一代の撮影隊は今夜八時大本統轄一代の撮影隊は今夜八時大本統轄一代の撮影隊は今夜八時大本統轄一代の撮影がよった。

立ちはだからんさする問髪の隙。一起はで繋を上げて、脈枝の前に

国根船。 一人のがへ漕ぎ寄せて来る一般の ・中部の

「お」、あの歌は」

二人は脱兎のやうに川岸へ断け

會員募集

六月プロ決る

常盤座の

大川端

早く、これへ」

総会

「それつ」

(可認物便郵種三第)

でから見れば、際に飛び交 (後郷は絶解経命、飛鳥の如く跳 紫電の閃光・ 飛び速ひさまに上つたかさ見れば、闇に飛び交 うりこつ・・・、 片膝を折敷い手の一人をザックリ脂刺い 配子三寸機に擦った安定の一万 左手に遺び縋つた敵の足下目りにつゝゝゝ、片膝を折敷い 「お、海無事で、さいこれへ」「か、忝けない」「か、忝けない」「か、忝けない」

く、船は二人を乗

ムル養表して食気た薬集することなり、「一十日に勢月の鎌地ブログラ

がく六月より開始すること、なり 常繁座の一萬人會見事集は既報の

を歩兵隊の一群。 「透がすな」 「御用」 も騙けつけた捕沈

「戀愛放送局」同「資金

さを示せるものである

て來る卅一日又は六月一日被日で便でブリントな取寄せる計畫なた 大日活の不二映畵 披露寒行は目下上峡(作品を敷)店の不二峡。高全満全支配給植

ズバンドの一径である ないAKでお馴染のローイ・ジ

溝口監督ら

今夜歸連

當分滯在撮影

を輸一所に被目を を編へた今週の を編へた今週の を解一所に被目先 るこさになった 匪賊を掃蕩し

我軍は

ン、第三の酸の刄を露元で受止め 、そのまい掛り上げて、チャリ大地の上を横に引く足振いの一 東大路んで、口々に明んでゐる。 脚大路んで、口々に明んでゐる。 春を

「職態に滞モリノ、土屋標が森喜美以上の城くで第四週の東京オペラ

で特に注目すべきは鮑麒に放て東 で特に注目すべきは鮑麒に放て東 数な占め同社が明らかにこの種の

資料される

鳴尾の

本數が略形似してゐるが正導眼及現代觀の人懶正朝では各社の製作 滋養に富み 美味にして 食慾を増進する 無しですませの脚味品 御食堂にも御家庭にも グリンピー

れたま、出演せず東坊城監督に配役

田満州者に配役され一行は今夜の洛して終ったが▲通儀氏の役は縁

入院の應雷

サラダ料理に御試用を 食品工業株式會社

施實々愈法行興ンダモたつ合とリタピに衆大 の他其や畵映で圓壹の只月ケー よ日甘よいよい!すま

先の代時ぞれこ!手握のンアフと者營經れあ會入御非是!法行興的理合すなを驅
刻速!急至りあ限制に員人

いさ下求おてに場賣符切の座當は券員會

極樂二人組

來るべき六月の日のブラン

ました

スカツ トキワ橋のクダモノ店

ミノルヤ果物店 電3873番

倫輕新 ななな 独食変 折凾入

ウ

蓄ラチ

界

0

朝

王

安價提供

但豪敦に限りあり

米國プランスウヰツク會社製

果然

服す

大 連 市伊勢町一〇六

輸入元 田 中蓄音器 店

優美の絶對なるを世に誇り、 本機は一九三二年型にしてその體裁、 必ずやお客様

方に御滿足を與へる事と確信致します

著音器コンビネー 超 高 ション 級 型

荷案內

定した金鞭は三億七千萬弗さなつ間に於て、谷が酸に融資するに決地を開して、谷が酸に融資するに決めない。

年一月廿二日議會を通過した復

農産物其他の輸

る。事代一時は非常に不安な空氣を確によっても明かなる如く一番

を孕んでるたアメリカ

融資三億七千萬

米復興金融會社

其後の活動狀態

銀行業を救つた事績

關稅改正案を可決 銑鐵關稅は二十六割引上ぐ 原案通

れないが東に角全演校職弟の鬼骸 地安東の称來ら漸く開けて來たの 地安東の称來ら漸く開けて來たの 「上海な終ての海外輸出も活況を なく
が成に角全演校職弟の鬼骸

市

況(年1世)

「東京二十一日養」開税調査會は二十日午前十時から開會午前午後に重り協議の結果南津林園税を保 で達し同日開議で決定する実行像第に加けつて於る、配して一方この増散は政府の海外搬のの偽替差 に張上げんさするものであると、とかして開税の混上げに供い昭和七年度増収見込ば約一千六百萬園 に張上げんさするものであると、とかして開税の混上げに供い昭和七年度増収見込ば約一千六百萬園 に張上げんさするものであると、とかして開税の弱上げに供い昭和七年度増収見込ば約一千六百萬園 に張上げんさするものであると、とかして開税の弱上げに供い昭和七年度増収見込ば約一千六百萬園 に張上げんさするものであると、とかして開税の弱上げに供い昭和七年度増収見込ば約一千六百萬園 に張上げんさする。のであると、とかして開税の弱上げに供い昭和七年度増収見込ば約一千六百萬園 に張し同日開議で決定する実行像第に加はつて於る、配して一方この増収は政府の海外搬のの偽替差 「建し同日開議で決定する実行像第に加はつて於る、配して一方この増収は政府の海外搬のの偽替差 「地震しの一部に添向けられ差損金の像業が終二千五百萬園増額とて於る。 「地震して、法により、一般により、一般により、一般により、一般により、一般に表して、 「はないの人間では、一般により、一般により、一般により、一般により、一般により、一般に表して、 「はないの人間では、一般により、一般により、一般により、一般に表して、 「はないの人間では、一般により、一般により、一般により、一般により、一般に表して、 「はないの人間では、一般により、一般により、一般により、一般により、一般に表して、 「はないの人間では、一般により、一般により、一般により、一般により、一般に表して、 「はないの人間では、一般により、一般により、一般により、一般により、一般に表して、 「はないの人間では、一般により、一般により、一般により、一般に表して、 「はないの人間では、一般により、一般により、一般により、一般により、一般に表して、 「はないの人間では、一般により、一般により、一般により、一般に表して、 「はないの人間では、一般により、一般により、一般により、一般に表して、 「はないの人間では、一般により、一般によ きのよ關稅調查會

年は北流一帯の治安不安のため未が今がち標常の出題りを見てぬるが今

建築現業員の

窮境打開策

奉 天 票 帖 票 報 注 帐

公認組合組織の氣運

關東廳でも追つて對策研究

愛匠縣出品數

【東京二十一日發】 關稅調查會は二十日午前九時半藏租官邸に開催し審議の結果左の二項の決定をみ 保ら小委員會で審議する保には、「日本には、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本の 日本のでは、「日本のでは、」」、「日本のでは、」」、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、」」、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、」」、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、」」、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、」」、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、「日本のでは、」」、「日本のでは、「日本のでは、日本のでは、日本のでは、「日本のでは、日本のでは、日本のでは、「日本のでは、日本のでは 「日本のでは、日本の

貿易は六月から

田超に轉せん 各商品共輸入一段落 在貨は既に飽和狀態

てるた析賞系界も一種の研究を認ってるた析賞系界も一種の研察で又た極調系の使用記されているる芸統の処きして使用されているる芸統の処きしてもない。

を遂げ進つて規順の縁定を行び書。 魔する方針であるさ

三月大連管内の

工業生產品激增

總生產額八百萬餘圓

大連民政署勝立係調査』三月中の 同管内で野工製設百二十工場、生産課 (本) 「大連民政署勝立任工場、三月中の で、一百八十六圓、月末現在ストックは 一百八十六圓、月末現在ストックは 一百八十六圓、月末現在ストックは 一百八十六圓、月末現在ストックは 一百八十六圓、月末現在ストックは 一百八十六回、月末現在ストックは 一百八十六回、一百二十六回、これ で、前月に比ずれば工場数六、生産課 がた流してゐる今後記録工業別に クは十八萬一千三百六十二圓の減 クは十八萬一千三百六十二圓の減 で結局三月中半産機械は八百萬九一年の一千五十個にもてその内澤は、大い七五、八八二國の大幅に乗工業・三三二、一六八四國の あり即ちその生産價額七百十萬九 問地販管債職の不明なる化學工業に設め上の外提保品さなれるため仕

奉天の工場地帶

敷地申込み多數

豫想さる大工場市

ルニ十一日發】銀塊安乍ら義水、丙興の賣りに下押心安住、 (銀行現物買、標金垣興の買こ 保合、爲替對商内、事、 が、丙興の賣りに下押心安住、 、不可興の賣りに下押心安住、

福岡の漁船

大 月には一ケ月に三百六十三行の郷 数は百十一行さなり、三月には六 数は百十一行さなり、三月には六 数は百十一行さなり、三月には六 を開きいるる、又体製鉱 の預金總額は三千七百萬ドルであ

◆…然もこれが野楽しないまでなければであった。これが野楽していが野楽したたことは整か継令選くこの問題に大連の場めにいくっては越かにいくっている。 新業構立に努める。 職題である。 職題である。 職題である。

来ない死活

373.354.9 10,600.0 5,926.6 1,521,3 1.073.4

22,121,0 55.379.5 2.154.6 2.070.2 974.3 451.9 516.7 18.1 305.9 435.6 76.7 23.0 552.4 576.1 2,305,7 3.044.1 2.234.2 3.446.7 7.734.8 1.933.7 1.148.1 115.520.5 770.4 1.691.7 145.7 163.8

4.441.8 2348.8 3.0 671.3

3,350.2 3,111.5

殿西心

₹I• <u>000</u>

相

新 論教向電信買(E)工志/片頭分 組育向電信買(E)工志/片頭分

今 (日一廿) 催の晩 夕の魔

では 直鎖

製だもく共の趣きを異にも金融製者、産業家、貿易製者参悲く体製狀態に陥り一大製液の必要が叫ば、東京三十一日發】財界に對する政局の反映は頗る濃厚で殊に後郷内閣に點する臆測は従来の場合と『東京三十一日發』財界に對する政局の反映は頗る濃厚で殊に後郷内閣に點する臆測は従来の場合と 政局の不安を警戒し

第一八〇號同宮糸七兩五〇〇 一般に佐て今まで受難の一路を逃つ一第一八〇號同宮糸七兩五〇〇 質施 されてゐる、この免

れてゐる

展子、富正倉社、果食會社長也 なる方館へどの位の金融が行けれ 寛際の數字について見ても昨年十七人は前様とな行ふ に交付海)となつた、然らば如何 は目に見えて風後に隠ひつゝあるに委れ窮迫せる農民に融資と若 に交付海)となつた、然らば如何 は目に見えて風後に隠ひつゝある 良さする資金な農務長官の使用 弗 (この内二億八千五百萬弗は既 ゴール法家による)が出來てから度さする資金な農務長官の使用

こ、銀行教育――普通銀行、貯蓄 け、又体業銀行の対 で、銀道を配置をでは、保険会社共他 まった。 一一一、銀行、信託会社、保険会社共他 まった。 銀道への融資ーー・銀行より容易に融資を受け得られなくなった。 現道したる窮境を切抜け なも、切迫したる窮境を切抜け なも、切迫したる窮境を切抜け なも、切迫したる窮境を切抜け なも、切迫したる窮境を切抜け なも、切迫したる窮境を切抜け なも、切迫したる窮境を切抜け なも、切迫したる窮境を切抜け なん で は 川際商業委員會の本認を要す なん いった は 川原商業委員會の本認を要す なん いった は 川原商業委員會の本認を要す なん いった は 川原商業委員會の本認を要す なん いった は 川原商業委員會の本認を要す なん いった は 川原商業委員会の本認を要す なん いった は 川原商業委員会の本認を表する。 たかを読なる。 なるものに就て形すさ次

配のその後の活動頻繁次の如くで、資本金五億弗は最早五分の四を支いに関職して慶々報合に出され、一社の鑑賞本金は二十億弗だからこれに関職して慶々報合に出され、一社の鑑賞本金は二十億弗だからこれに関職して憲統不動発資金化制 に於て記明してゐる所である、同わが國でも最近不動発資金化制 に於て記明してゐる所である、同

の教 「、 銀行、信託會社」四三、〇〇〇 一、銀道會社(10件) 七八、〇〇〇 一、銀道會社(10件) 七八、〇〇〇 一、銀道會社(10件) 七八、〇〇〇 一、銀道會社(10件) 七八、〇〇〇 の預金總額は三千七百萬ドルであった。 全職會社(10件) 一二、〇〇〇 の預金總額は三千七百萬ドルであった。 一次銀行危機延いて影業界心を、主地銀行(10件) 一二、〇〇〇 の預金總額は三千七百萬ドルであった。 一次銀行危機延いて影業界心を、土地銀行(10円) 一四、〇〇〇 一次銀行危機延いて影業界心を、土地銀行(10円) 一四、〇〇〇 一大銀行(10円) 一、銀行(10円) 一

通貨の額は二億五千萬ドルに上つ

經濟界口休業狀態

満洲の業界蘇生 從來の玉糸等は驅逐して

内地向輸出増加せん

柞蠶糸の免税で

低落 破髪は三パーセント 禁止前よりもパパーセントの

特産協會大會は

今秋大連で

上 滿洲特麗協會の昭和七年度におけ (能についての議事である) なた會は既報の起く滿洲新國家の 内地客縣に於ける組合の意向も大き、避生さ共に日滿殿國の環境開係に 連に放て膝條するここを要認する これに満洲電要物産組合で観覧されたき り正式に滿洲電要物産組合に難して一般ない。これがあった、これがため震地電要 て震地組合でもその意を認さし、所があった、これがため震地電要 て震地組合でもその意を認さし、所があった、これがため震地電要 て震地組合でもその意を認さし、所があった、これがため震地電要 て震地組合でもその意を認さし、所があった、これがため震地電要 て震地組合でもその意を認さし、一般変が変組合では直に流域は勿論關係 近く役員會を際能協議の結果値分 を方配さが傾抗合せを遂げた會席 の回答を養する等である 協會本部、正式に照會

これを見れ

おか二十二日午後八時 戦変店長は長春方面

中弱保合

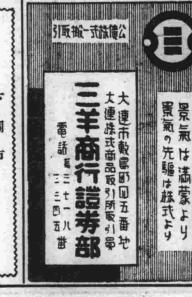
が酸成されて來

銀 5:10枚 11"美气"是图象 5:10枚 11"美气"是图象 5:10枚 11"美气"是图

成(十九山) 本で、説代、80六、40 15、70年、7010、大 88、85年、7010、大 七二七兩〇〇七十二十五兩〇〇

曉の市街

マ電六五の諸の





■蒼白き人々 葉山純之輔……主演 業山純之輔……主演

上海向電信製(同) 100兩0分0 日本向電信製(同) 40國00 日本向電信製(同) 40國00 大 학 백 백

五月醂月の根場を平均してその平 ・ でするこことなったものと知く、 ・ でするこことなったものと知く、 日新紙幣一元に對する補助貨幣の中央銀行設立準備委員會では二十 紙幣一元に對する換算率は 新紙幣に對する 補助貨幣換算率 滿洲中央銀行の方

在貨量松花江河豆の

十五乃至廿萬噸

に決定する模様である『長春電話』

で変いまり来る六月二十四日隙舎 の満洲見本市への本年参加出品数 の満洲見本市への本年参加出品数 で、第一部八小間、舎計三十二小間で で、第二部十六小間、舎計三十二小間で で、第二部十六小間、舎計三十二小間で ば左の知と(単位側へにこれら製品の仕向地

は十八名であるこ【華天養】

(神戸二十一日養) と ので輸入取極めボツ ので輸入取極めボツ ので輸入取極めボツ ので、輸入取極めボツ 一段刺戦と急落とた 爲替氣配

地特產發送高

#30

九日公開 D

物・米

等着相場 二-省比0分0 等着相場 二-省比0分0

高の映識で最低の料金

大阪棉花

演主懐ーアム

語物族任敵股作伸川谷長 負 勝 袖 振 の于智フキマ・駅太岡村澤 屋 小 燒 炭 篇代現子雲川小・夫正井太

サ立代の劇

政治干與の誤解を避く

の態度方針は

関公の奉答決意は未だ失っても関金部を

耐元帥さ會見するこさゝなつて ないご思ふ、今日は東郷、上原

にしても明日午前中には何んさ感されてゐる模様である。何れ

園公訪問後近衞公談

安達氏復黨

實現努力

民政有志申合す

内倉館に有志代議

郷國一致内閣に

壁を起し場い態度は一切之を避け申込む如き有くも政治に干臭する

谷口各大將参集で伏見軍令部長
議を開き東州元帥、加藤、安保

海軍々事參議

立憲政治家では既成政 重の弊は相常保いものがあるか 重の弊は相常保いものがあるか ない。 の弊は相常保いものがあるか のがは、 のがは、 のがあるか のがあるか のがあるか のがあるか

さの意見な遠でた模様であるが滞 一でない早急に概る際には行くま でない早急に概るでは行くま

一十一日餐】清浦傘晋子は

所信を披瀝し

た清浦子

眞の擧國一致內閣を

軍人精神に悖らず

陸軍首腦部の見解

のを否定するにあら

【東京二十一日發】山之內一次氏は園公邸齢去後直に山本伯を訪問 会日は園公邸齢去後直に山本伯を訪問 会日は園公から或要件を頼まれたのでそれを山本伯に傳へた次 まである、老公さ山本伯に傳へた次 まである、老公さ山本伯が會見 まれるか何うか未だ解らない、

木新總裁の下に全部軍任に決定し

嘆願書提

出 同盟

救國學生

開院式は延期

盟代表七名、愛國帝年職監代表十年有志を以て組織せる敦國學生同

版を訪問し、未を関して発き同時に駿河

河麓の西園寺公

けふ午

何とか目鼻つか

政治干與を云々する如きは

くも

、協議を重ねたこの情勢に難する陸軍部内の空氣は相震注意を要するものがある關係上之に臨る陸軍官騰部の態度は慎重であるが軍部型兵司令官及び小磯大官は二十一日年前九時官邸に荒木陸相を訪問し右に関する一般惨勢を報告した後、之が野策に就き約二時間に正惑、司令官及び小磯大官は二十一日年前九時官邸に荒木陸相を訪問し右に関する一般惨勢を報告した後、之が野策に就き約二時間に正惑、二十一日發】後繼內閣問題に對する軍部の態度を以て政治に干爽するものさなし護惑運動の氣運は耐く顕著さなりつゝあるに鑑み来京二十一日發】後繼內閣問題に對する軍部の態度を以て政治に干爽するものさなし護惑運動の氣運は耐く顕著さなりつゝあるに鑑み来京二十一日發】後繼內閣問題に對する軍部の態度を以て政治に干爽するものさなし護惑運動の氣運は耐く顕著さなりつゝあるに鑑み

不可なりこするは陸相が國務大臣たるを否定するものだ軍部の政治干奥な云々するは今次の事件を反軍宣傳に利用するものでさして已むか得ないさ共に之なしも政治干奥さ云ふなら現役軍人は國家の滅亡を坐視しなければならの事になる、又陸相の政治に干奥するこなすは認識不足に基くもので斯る行動をなした事は全くない、國家非常時に際して一個の意見を有する事は國

町の私邸に訪問意見を交換した

が野業につき酸機のが針を除き更 ・ は、 ・ は、

つけられ軍政並に人事問題に就き後二時常中に参内陛下に無誤帰せ

奏種を御下間に楽答した

政友幹部重任

山本伯を訪問

護憲運動氣運擡頭に

け伯の政局善處の意見を聽取す

内閣論念よ有力

四一致、超黨派的强力內閣を以て現下時局に處する最も適切な措置を採る事際を期するは轍を一にしてなり、軍部の強硬態度は各軍団に反映してゐるから結局園公は軍部の希望し谷頭巴の意見は、壁國一致內閣、政民壓膨臨力內閣総者等終すしも一部級を為すものではないが、何れも時殿を塞

ら二十一日午後願公を訪び同様意見の際陳を覚すものではないが、何れも時局を魅ら二十一日午後願公を訪び同様意見の際陳を覚す等で、之で重臣さの會見全部終了り、また總理天臣の曹皇祖皇オモし

清浦伯

停止されるならば

は我黨の責任な

園公ご會見

の時局戦治については発起なる考慮を振ふ旨を述べ、闘公の参内窓答する際の打合せを遂げ午後三時七分離表、顔に内を説をの時局戦治については発起なる考慮を振ふ旨を述べ、闘公の参内窓答する際の打合せを遂げ午後三時七分都表、顔に内を説をある内閣を維織する事を進言と、更に山本伯、潜浦伯の意向な際へ、極力未曾有の重大時局に警長するやう希望とたるさころ、東京二十日養】牧野内府は二十日年を二時駿沖蘇に融公を訴問、寒下の重大時局に際し四國の懐勢に鑑み覧く人林な縲鰀する内閣を維織する事を進言と、更に年後四時一木宮根も加はり重要協議を発すて、極力未曾有の重大時局に際し四國の懐勢に鑑み覧く人林な縲鰀する内閣を建立して、東京に年後四時一木宮根も加はり重要協議を発する際の打合せを遂げ午後三時七分離去、直に内を招き書いる。

後三時七分辭去、直に内大臣府に入り給

重要懇談 内府園公訪問

、C55公こ、時間に関する議院 ひ、後継内閣奏廳のため肝臓を盛 び、後継内閣奏廳のため肝臓を盛

有志代議上

政友會

日は徐ろに善處

上會取止

部を刺戟することは時局を一層混定であつたが、薫内にはこの際軍

の意味を明成り しなからうこの際憲政機議を明ぶ要との意味を中政り しなからうこの意見出て山口幹事との意味を明確さし 機能し種々意見突搬した結果、機能して記り軍部首艦 時に有志代議士會し取止むることに、 できまり ない しょう しゅうこの できまり 本部に 辞事會を からうこの際憲政機議を明ぶ要との意味を明確を明確を表現した。 出来たこの報も 行動排擊 かなつた

身命を賭して 八會氣勢を揚ぐ 憲政を擁護せよ

、政震政治の擁護ないて山口幹事長は立 が為した萬難を排してその任か器で述べて氣勢を揚げ、鈴木新總裁 数はて憲政と新總 場で、 の復識についてはご田敬八氏が時 の復識に登成し結局安選、富田 形氏が成るべく早く復瀬出來るや では復意説に登成し結局安選、富田 がしまの異論を進べたが、大勢 では、一般によったが、大勢 では、一般によったが、一般になったが、一般によったが 際内の空気を導く

各都市一店限り

便衣隊の

「東京二十一日發」 海線協議に就き所能を披騰し酸公 を機能策に就き所能を披騰し関公 の感響に重要資料を興へた、なほ の感響に重要資料を興へた、なほ 一時三十分から軽度概公を訪ふた は同一次氏は同二時公職邸を終去

飽迄七單獨內閣 主張貫徹の鈴木總

六億三千餘萬圓

全後は闘公の肚一つで決する譯 ない、森の考は飽くまで は本た関公さは會見の鎌定はない、森さ意見の相違を來した さ傳へられるが左樣なこさはない、森で意見の相違を來した では来た関公さは會見の鎌定は

答へる事が出來ぬ、共際余は何うするかと際余は何うするかと

上頭會議 四十萬八千國の巨瀬に達したが、四十萬八千國の巨瀬に達したが、四十萬八千國の巨瀬に達したが、

五萬一千圓でその内器左行によるものは六億三千

日支紛争ご

軍部の方は全く解らなくなつた
事部の方は全く解らなくなつた
輸送の態度に就き態識し十一時半
輸送の態度に就き態識し十一時半

事件の處分、

文化方面から

京大の兩教授來連 土産話を致じませう(寫真はのが眼目で行つて調べてから、満蒙を正しく認識しやうさい

満蒙を觀る

ある満豪の呼認識さ移民問題の方 別流鐵調査課長佐田弘治郎氏は滿 滿蒙の實相 佐田弘治郎氏談

針を定めるべく二十日はるびん丸

日露支衝突 ドイツが憂慮

津屋課長語る



が監獄法改正調査委員會總會の決議に係る刑法改正草案等を輯録せる成立 て最近法令集……(本冊には最近一年間に公布せる法律の全部と解收錄法規實に百數十件に及び、而も本年發質の六法には更に別冊附錄 收録法規費に百數十件に及び、而も本年發費の本書は印刷鮮明・內容容高・提帶系便の三要素を 士へ頻だんと試みられたものである。希くは此の機會に陸續衛用命あらんことをよう回此の光質せる最新版を特に奉任的廉價を以て答ねく學用故に一般 夏。輕便法令集) ◇普及版

定價或圓五拾錢

・を添付し、以て研學者講賢の利便に供ふ。

定價金 歌 圖

一三〇神典

三七〇番

一五〇

神東田京

有

斐

閣

35.



◆法科滿幹各卷金六十二錢

牧野英

改訂版

上海事件ご

行政整理退職資金公債 工一、交付公債 三〇、

000,000 一十五個三十銭この好なに敷育萬喇でよる 那人被索鞭は四月末送の申告され がもの緊部観六十六萬四千九百十 の事八十九個、金四十四萬三千五百十 大きの緊部観六十六萬四千九百十

に訳上された滿州事代費は六月以 『東京二十日登』七年慶追加豫第 一億五千 餘萬圓 圓卓會議

新 新 新 で で で で の 合計

事件費總額

れ抗日数國會代表は昨日午後汪樹和京二十日登』反日際機の園町 反對運動

指定六法として斷然獨等の信頼と稱讚とを擔ひ來れる實典である。
現に各地裁判所を始め、司法官、際護士は勿論、各大學・高等學校・中等學校等の有斐閣の帝國六法全書は發賣以來實に數百萬部の永權的利用を有ち有斐閣の帝國六法全書は發賣以來實に數百萬部の永權的利用を有ち

開き會見して滿洲問題が解決す 推縄せよこ要求し、日本の固卓會議開催

前側の満洲事性製の値六千五百萬路の分で總統一億九千二百五十一 大阪の活動源で的に復し連上海二十日餐』 我軍撤退さ 活動活潑

事件費追加豫算内容左の如し事件費追加豫算内容左の如し、満洲 協會の集會際上一下院設員の質問と 軍長官ペーカー氏は本日國際職器 ベーカー氏意見

ため非常に不利だったと強調した職職はアメリカが加入してゐない 各般に亘り

會計檢查

倉託機査院第一部第二課長津屋幸 右衛門氏は関東្藤浦鐵その他関係

十日午後四時牛人港のは

の智楽、支那、紫藍紫山本の衝突が 暖に現下の極東の事態に危機等む 、起つ一部では風破政策成立。

教授法學博士一一田文次即生新著東北帝國大學一一田文次即生新著

金量

愈發賣 本書は牧野博士の有名なる日本刑法に関する全地大学別法ノ製念し、内容に於て一層精密な加い最新知及正草、紫等に至る法型切に参照に以て将来改正法の責量、大修正も從来に比ら、更に一層精密な加い最新知识。第一年 大修正は牧野は大学を大きられて、大学をがられて、大学をがられて、大学をがられて、大学をがある。

發行所 東京神田一橋通 有麦男外放所一大阪屋號書店

介孫氏及び日支軽差與真に手交ら、 東古山間壁に關し、外務總長謝 を發表すると同時に、外務總長謝 及び日滿鯉鼠四、五名は二十一日 で發表すると同時に、外務總長謝 及び日滿鯉鼠四、五名は二十一日 で発表すると同時に、外務總長謝 及び日滿鯉鼠四、五名は二十一日 の五氏 との愛謝 ター(秘書)ピットル中尉の五氏 の大の愛謝 フス (美麗) コッツエ (軍事) モ

長春を通過

日滿協會創立計畫

兩國の精神的、經濟的提携が目的

會計被客院津屋被客官更平、山本 一日來旅關東廳を振出して左記 日割により在滿各機關の會計檢查 で行ふさ 二十一日願東廳◆振出して左記 を行ふさ

會計檢查日割

文專資局▲二十九日──六月三 本二十七日──二十六日表連長政署 「四日──二十六日大連民政署 「四日──二十六日大連民政署」

▲有賀庫吉氏(滿鐵學務課長)同

宮田修氏等近~來

上四洲緑郷田にて梨天に向ふ事と望に分乗來齊する事になり一泊の

・ 一二十一日午後二時三十分長春を出 ・ をなすから知れのさなほ一行の鑑 をなすから知れのさなほ一行の鑑 をなすから知れのさなほ一行の鑑 をなすから知れのさなほ一行の鑑 をなすから知れのさなほ一行の鑑 をなずから知れのさなほ一行の鑑

のうべき ペハルビン特電二十一日襲 リッ 出郷へ見送りする者もなく一行は 野鹿大な トン脈以下ឈ點郷舎脈は今朝七時 如何にも続しげであつた 【長春電 敷藤の 十分養素天に耐ひ裏門委覧は十一 話』 である、関に一行の過長に際して 學の ての 十分養素天に耐ひ裏門委覧は十一 話』 「ある、関に一行の過長に際して 学の は満洲國脈から一人さして膝蹠に 氏は 一番の 一方養素天に耐ひ裏門委覧は十一 話』

は、現様な日浦協會を創立し精神的に
氏は近く日浦観音を創立し精神的に
氏は近く日浦観音を目的さした大
響の元老にして修養順顧問宮田修

動につきをと文書こ目及り、これが事が、新聞その観念さ我等のの記念さ我等のの記念さ我等のの記念さ我等のの記念さ我等のの。

(日曜日)

+

專證絕拒

張學良の逆宣傳 山海關事件の真相を調査し アメリカ武官驚く

展上海二十日登 満洲國の出現、 電民政府の財政は今や未替有の國 趣に隠つてゐる、財政部の財政 を記したさ傳へらるなほ宋子女は衆順前原で重要。 したさ傳へらるなほ宋子女は常地 したさ傳へらるなは宋子女は常地 したさ傳へらるなは宋子女は常地 したさ傳へらるなは宋子女は常地 したさ傳へらるなは宋子女は常地 したさ傳へらるなは宋子女は常地 したさ傳へらるなは宋子女は常地 したさ傳へらるなは宋子女は常地 したさ傳へらるなは宋子女は常地

諸株上伸

子面さなった

ででは、 ででは、

佐賀多事會員 一港のはるびん丸で佐賀線登中学田總市氏外六名の親庭中学田總市氏外六名の親庭中学田總市氏外六名の親庭中学田總市大外六名の親庭学を地を巡視の後朝鮮を総等各地を巡視の後朝鮮を総

米劇理事官(七)

帝【東京二十二發】

來客に、團欒に無上の軟件

大連市役所愈よ

廿八名整理

世級に日満の提携を配っため二十四日福野前満銀理事で同道渡満 十四日福野前満銀理事で同道渡満 一大のであるが、宮田、福野耐 では京城総の三十一日本天に行き 氏は京城総の三十一日本天に行き

二十日通告を發す

臺灣の長者

三野英一志八片一六分七である。一三野英一志八片一六分七である。唯へは野米三十一弗八分

東京爲替市場

を表すがりは学佐美塚天事称所長も を表すりは学佐美塚天事称所長も を表すりは学佐美塚天事称所長も

銀筋質進みに小線な

多額の人超を入

■ 本八木開一氏(高級秘書役) 二十二日出帆はるびん丸にて約三週 一日出帆はるびん丸にて約三週

五十三圓六であつ

為替伸

悩む

▲佐田弘治郎氏〈前滿級調査課長〉

右衛門氏〈會計檢查院課

産業視察が目的 事業を起すか、ごうか判ら

國民政府の

中旬貿易內容

で開かれる定時株主總會に附議すて開かれる定時株主總會に附議すて開かれる定時株主總會に附議すて開かれる定時株主總會に附議する音による。 本廿二日廿一時間五分公主讀者森獨 4 立守備隊司令官訪問▲同日十三時 本者一泊▲廿四日廿二時長春發 6 日十二時四五分公主讀者森獨 4 十五日七時來来着▲同日十三時 7 七五日七時來来着▲同日十三時 7 七五日七時來来着 金編鐵重役會

ne sure

社會式林斯造道尾

かが加入してるないから、総記はでしきされば、この記は出ない答所でも考へれば、この記は出ない答所の意味はごの画家さも等ふ機関ではない、國家間の筆ひを無くするか▲ の中に覚醒せればならの▲アメ

車に日本人乗れず 哈間の國際列

二不二 〇〇 〇申〇

五三三〇 一、九九五 四六、六〇〇 六八二〇

ドイツ製

最高品

地生白種各 すまり居てへ揃取に富豊を の門事跳御染別 店地生白染京紅丸 番六〇---電弧橋敷心街徹連速大

BII / 宣离打

壹打 金三十五錢

丸岡糸店

ミシン針

● ● 養語 ■ ○ ■ 八番

イスプロログ

早梅科醫院

大連市西連(常監楊並信中国) ・電話六七五二番・

田來高 二十車 田來高 二十車 田來高 三萬一千枚 田來高 三萬一千枚 田來高 九百箱 田來高 三車 包 米 三四五〇 二八八〇 田來高 三車

高橋 岡光 忠家

今現物後場《銀社》 今現物後場《銀社》 海道《袋物五二五〇五三〇〇 大豆(裸物 出來高、六十車 出來高、六十車 出來高、二十車 廣日

は軽く、病関力は開如として旺富す

筋肉は活像に脳

ヘボーツ薬

サロメチール

A P

で然かも効果的な治療方法はない。 指を笑いた、関節を捻つたといふとき

といふ時サロメチール像療ほど、

足を挫いた 打撲をした、

肩が凝る

顧維鈞と會見

の密使密

政友會の今後の方針さ爲さんさ要するに鈴木總裁の稱道して

漢による直接看迫等の手腔が取ら ないさ 上代成養表、報道脱の配布、無報 般に秘密裡に得は継續され所謂姓民のブラックリス れてゐるので日支

商間の取引は一

1、0英人1世

森本森太郎

市場改組の

市参事會

富田 直耕

二十三日招集

日

社

任關東廳屬
正八位勳六等
正八位勳六等

關東廳辭令(十九日)

張學良の命令で

申込方法

五月二十四日遊にメンバー

(所屬個所俱樂部名記の事)及び参加料一圓・

事業部宛申込みのこき

北公園滿鐵、露亞町兩コート

使用ルー

明治神宮大會競技規定中の軟式庭球ルールに依る

丸菱ポー

滿洲國、大活動を開始

1-2の委任統治を解く覧記 と約三十分に取り論。 ・ オリスの委任統治地域たり 市代表さの間に関係。 ・ オーヴ十九日登】本日の職 加入國の前途を脱稿。 ・ オーヴ十九日登】本日の職 加入國の前途を脱稿。 ・ オーヴ十九日登】本日の職 加入國の前途を脱稿。

問題の交渉は料の

英が委任統治權を放棄し

の獨立

聯盟理事會が承認

大連中央卸資市場改組の市参事會 は既職の通り二十三日午後二時よ 任関東顧警視 ・ 製高等官七等 ・ 関東顧警視 ・ は 製高等官七等 ・ は 製高等官七等

は同地域に繋する委任統治権を放

馬占山問題の

覺書を手交

調査團、謝總長等に

に体態、同三時代特別列車で南下 管戦されたが一行はわが軍警によって殿頭は時十九分(満洲 時間)長春に到

下「信意の干渉を発れるやう潜航的に一般國會により本期館の口覧、支那・登は依然武漢氏衆韓國會と漢コ工界・登、【漢口廿一日費】武漢の振日運動・

に一列艦の各理事画代表はいづれも新州 治委鼠フォッチと氏が養表するやまれるであらうさ委託統 リークの批准あり次第同國の加州

七、第二十八號議案 傑第追加更大連市特別會計中央卸資市場經 營歲入歲出镰第 營歲入歲出镰第

第二十六號議案 基本財產操

富田 直耕

武漢排日運動

※するご共に、イラークは戦闘國家するご共に、イラークは戦闘國

学 医 江 堀 東京 治

梶田小兒科醫院

海軍や令部出仕 海軍や令部出仕 昇 大豆昻騰



滿洲總代理店大建市 新泰勒

洋

ケリビス、ロンドン

市 况守

兼任外務省醫視(七) 機東雕醫視 -

青木

直次郎

政策を含めて

五大

說

る語大な逆貨售である事に**職然**

六第回十

關

庭球大會

日

五月二十九日午前

九時開始

であたさいふ正子さんはお世機典をおけるな事はの郷高女の御出泉で、芸芸のでありな事院の家政科に學ん

都合でござひますから崇み好

覚えてゐませんの、でもその頃 打つていらつしやつたか少しも 向興味がなかったせいかごの位

々大連組合教會の熱心な信者なの

一二度お父様についていつた宝 ていらつしやいましたから私し は平日でもよくリンクへ出かけ を年屋ケ浦へ住んでぬました頃

「お父標の御自慢の」

持病退治で

「ゴルフ黨

毎晩お風呂の中で長唄を唸る

語る榎森正子さん

公さ

Ŧ

<u>=</u>+

中 す、編の機な彼の舌は用捨も無く この孔より差込まれ、恐怖に縮み 上つてゐる以政な総機無ಪに掛り 上つてゐる以政な総機無ಪに掛り 開いてしまうので

麗春のもご、

大連運動場で

五月祭

| 氣樂などを相手に 無いではありませ ゆかしい ○大連第一中學校**小林勝**)

マルボーロ へ造豆 香 九五節 濃信 遠大 街九七四二二電·場互

_

五

千姿萬様の奇態を演ずる

タマキビや優美なヨメガカサ

道化者・海べ

弱肉强食の

その中に床しい仲間の

幼いものは總で可愛いものであります、然とそれが決難に可愛いります、然に初たは管目値であって非さ言ふだけでは管目値であって非さ言ふだけでは管目値であって非さら親は勿論のここ大人ことできたも親は勿論のここ大人ことで

波日

界鳥瞰

飛躍號

卷别

日本女性

=

●●●本社編輯局調査 (日本に打寄せる)

て居るのであります。

で優秀なる民族への企圖、即ち優地の弊は決して遊戦能な、電イの際は決して遊戦能な、電名に終着事業の呼びなくして優秀なる民族への企圖、即ち優 此處に於て肯見、乳が見保護させの原因を追究せればなりません。 必然世性保護の貨際化さ言ふ問

和日本財路論

の軍日接ず日 要事本衞し支 を通一或で事 時でのは日件 り田平近露終 。氏民しのら

平

田

晋策

女

*

金目を して出で立い可く あらゆる方面に創

シス合衆國論

田所

輝

明

(0

宮島信夫

野 謝 幼いものは総て可愛い

た優美な形のヨメガカサなごは、へ振闘うと少女のかぶる編傘で言つ

乳兒差

護

玉

世界の朝の鐘は日本 世界の朝の鐘は日本

帰は静に

手に

よ

9

7

打ち鳴

らさ

に昇る

世界の

(可認物便郵種三第)

の次の時代を强固に建設すべき

大森医院

私典女性に與へられた年に一度の光響には心のこきめきな覺える今日の日で、近に待つた五月まつりがまゐりました。

れた年に一度の光楽の日です、よろこびの日です、心難える今日の日でせう、今日こそ、程典女性のまつりがまるりました、よりまつり、耳にきくさへ、字にりがまるりました、ありまつり、耳にきくさへ、字に

よ歡びの

を

のであります。 を子供の原因は大別とて (一) 眼に視える原因 (一) 眼に視える原因 不注意なる親達の罪であり、然ればなりません。育見知識の少な

概滅は何處にあるから追究しなけ見死亡率を示して居る我國の共の見死亡率を示して居る我國の共の

帝国ホテル

薬革命論

平田内蔵をおります。

物量比較小儿新

かセル程度の輕装か、さつばりした洋装位でお出かけ下すったがリロくへと引きずるやうな盛装よりも質素な着心地のい

は傾はとい一切の難務から開放されて態時代の頭かな氣持にかへつて聲高らかに唱ひ、心も聽行ってあます。かれては篆粉に忙といお毋様も、お嫁さんもお姑さんも今日一日だけ

よ先帝ブはのの起してのの義しし點全 りづ國ル如發日しシ世第表・1日ハな別 説勢ホジ何生本たヨ界一紙日本ンれ注 (働テョ?及國がン的撃ララ國民のイ で及ルアわび民ハをセを別に民ニるるの 後にのざ本主ン様ン掲に民ニのイの ここで宿と質義ニさせけ其

嵐の中を行っ

詩の發生及び展開 を出

中旗を出て一 東旗を出て一

阿部靜枝

歌。朝。民國本日 草木と生活と詩歌

民衆賣藥論

お嬢さん種 ふしあはせな人たち 圓地文子 柳原燁子

表發號本細詳 よ々人しのさで出てしく可ず出

東府の常」殿つた或る女性ない か要なの際しい温泉場にポッカ か要なの際しい温泉場にポッカ が要なの際しい温泉場にポッカ が要なの際しい温泉場にポッカ が要なの際しい温泉場にポッカ 森 平 たに配め期 中 ら吐風機か 田 ?きを除に 江春 し息のけ 三千代

子 晶

来るころ

堂々六百頁 石丸喜世子 拾 錢 菊子

五



ニの日本

さいへば何でもお好きでおい頭には御自分でも大がい一通りはなすったまうで、今でも野磯などには 好きで、長唄は大分前からおけいません。それに締ら好き音樂 現實の本と幻想の本の問題が見青野季

計劃經濟、命希苦雕瓣經過

高木友三郎

マン論

松山氏の下駄。紫紫原の曲 財界の行く末: 又學雑成 はの文苑内に漫歩

曲井上生之功 は外の盗星様は 眞杉 正宗 近 松

靜枝 白鳥 江 捨 楳 一グ 三 本 み悲のカ

―グンヤギ 說小衆大

前夜の日本 本 教術の 寂! シネマの日本化へ 立花高四郎 未亡人と思った 鬼女房 万里野平 田

洋連 紙

各纸

吉藏

曲龙

日本國民は全國書店にあり











愛見か

出及で

千

Ξ

百

錦洲にも乘合自動車馳る

坂元警部遺骨

匪賊占領

『季天』北山城子よりの報告に依れば其の後大万會鳴襲戦の流電感 め一時動揺した市民も高大安定と つゝあるこ 民漸く安定

返へす及で自殺した男 妻が入院の奉天醫院で はい蔵のみでなく大人の患者も二はい蔵のみでなく大人の患者も二はい蔵のみでなく大人の患者も二はいないが衝れ熱になったが衝れ熱にある事になったが衝れ熱にある事になったが衝れ熱にある事になったが衝れ熱にある事になったが衝れ熱にある事になったが衝れ熱にある事になったが衝れれる。

虫でも

なく全滅

進物用折詰調製

別製ベビーシユークリ

敷設線道を向後ごう經費するか、新様に甚大の打撃を奥へた支那側に

般の入場許可 2

手不足に

有料参拜者に繪葉書

「春天」 東天省公署は新組織法に をり従来の参議を参事官に改め金 が、程元極、王並楝三氏を参事 が、程元極、王並楝三氏を参事 が、程元極、王並楝三氏を参事 漁業最盛期を狙つて きりに

げか

各手足半 種與路力 有用用用

山羊乳朝夕の御愛飲は 病弱者は…… 病の御愛飲は

山羊の

乳

乳用山羊分譲

悩む撫順署

玉代值上 た柳町各料理・一の進出に青

降を残し 製造地方卸 寺



生みたて 花

卵子





一一次國共同院大連支店 電景六九十・五〇〇一 系別切符發質所(大連伊勢町) 系別切符發質所(大連伊勢町) 日本郵船

一等四大回 \$P\$ 在月世二日 \$P\$ 在 1 (漢語》 六月二日 \$P\$ 在 1 (漢語》 六月二日 \$P\$ (2 浦》 六月二日 \$P\$ (4 模》 五月廿二日 \$P\$ (4 模》 五月廿十日 \$P\$ (4 模》 五月廿十日 \$P\$ (4 模》 五月廿十日

●天津行資州丸五月廿五 (客至) 實州丸五月廿五 (客至) 實州丸五月廿五 (客至) 實州丸五月廿五 (家在) 河南丸 五月廿五 大阪商船株武大連支左 電話四二三七 東船切符赞賞所

海產物問屋陸海軍御用達鮮 魚、蒲 鉾

■日清汽船財出帜 店海行(韓山丸 六月 一

接替口座大建三八五四卷 膝 順 制 日 町 市 場 内

大阪商船飲武大連支

國際運輸輸式大連支店

○ 大連汽船出車

明鮮県多長(錦江丸 五月廿八日 韓鹿兒島 (大) 第江丸 五月廿一日 韓鹿兒島 (大) 第江丸 五月廿八日 世人 (大) 第一人 (大) 100 日本 (大) 100 日本

忠魂碑を建設 一十二勇士の英靈を合祀

鞍山臺町ゴルフリンク山頂に

都も水く朝が護邦すべく思魂神想を特性者が出したのでこの英麗か合 設の發起人會が催じ二十日午後一

故鈴木伍長

二十日好除

參議改稱

奉天省公署の

耕地を捨て

鮮農達再び避難 新濱縣から廿四名

ここだ明じ之が死亡を探索中のことを散して壯烈なる戦死を遂げた ごを戦して壯烈なる戦死を遂げた ころ此程献く發見、二十日午後三一を正式任命した

約四千の匪賊團

鳳城に迫る 徐文海軍討伐を準備

五日現在百四十九月、一千七百二十三名に塗と従って除りある城内で家家様底し五月に入りて宿屋繁業で家様底し五月に入りて宿屋繁業で家様底し五月に入りて宿屋繁業でで、一千七百二十五日現在百四十九月、一千七百二

で最も重大な漁業期であるので、いが野業に嶋首協議してゐる年

沿岸の住民二千、蓋平に避

北山城子居住

寛何縣城内を 世にれが推移及び防御計畫につきまなが、出動せらむれば逃げ手か緩が、出動せらむれば逃げるるがおいない。

鐵嶺の猩紅熱

に嘆願してゐる

たガルに

初發以來二十四名に達す

なほ蔓延の兆あり

蚊とりには

蚊取りの

朗かな家庭的ホール

0

午前十一時 大連丸

サービス…是非一度…… 日支 英 料 理 さ 献 身前 は通に御批判な幾りたき

敦賀町

食堂満

イマッの

蚊取線香を

御婚禮兵也歡送迎御宴會には是非野食

阿北九州商船出机

ベート・六ース で配株式會社 が三〇

●三角基崎佐/昭廣丸 青井日出帆 (次航/4)唐津寄港) 代理片大連市須磐町)

遼陽輸入組合

往來 業學校生 二十 特許

どなたでも 与計例除數學作十級出 備へて置かねと イマッの 短取粉を ぬばかりでなく 急場に困ると 申されます んな

石炭商·倉庫業 千代田生命保險相互會証代 理特鮮火災海上保險療式會社代理

三四番

メデクトル井波疇吉 科醫院

特産市場と 公主嶺の将來

引所專案 大岩峯吉のこ ます、騰豫常なき豪東が正賞であり金が、不幸大学晩取不能に殴った。 は粉束ごう推移するだらうか、師 公主顕常郎様優の変力に付ては家中の線で物である貨幣のことであり 年夏期地方農民に繋する多種の食の線でかる。貨幣のできるが、師 公主顕常郎様極の変力に付ては家の場では粉束ごう推移するだらうか、師 公主顕常郎様極の変力に付ては家の場では粉束ごう推移するだらうか、師

た主教師の歌歌歌がであって、家族に對し、大工の歌歌の漫歌に在る、本語の歌歌を出って、家族に對し、大工の歌歌を出った、大田は、歌時会主教へ出郷を特の値中が振大して、投機思惑を助った。大工の歌歌の歌歌に在る、本歌の選ぶになった。大工の歌歌の歌歌に在る、本歌の選ぶには、歌する、大工の歌歌の歌歌に在る、本歌の選ぶは、歌する、大工の歌歌の歌歌に在る、本歌の選ぶは、歌する、大工の歌の歌歌に在る、本歌の選ぶは、歌する、大工の歌の歌歌に在る、本歌の選ぶは、歌音を表表を動き、大工の歌の歌が出る。

西公園町六九 金班 三番地ノ五 水鳥 電二三番地ノ五 水鳥 電二 信濃町市場正門前(木) 來 記 號 電七字符號

間易 保険即時立替網信 会験實質は同さ云 会験實質は同さ云 会験實質は同さ云 派遣 子供

店裏小路の萬壽屋質店

朝の五か旧太

VALET"
Auto Strop
Safety Razor

をオエヤ

なんな何んで

日本產 古衣、及 有照會を乞ふ(カメログ進星) 伊藤正明商店 重輸出 部 重京1幕里金杉一六三八 電話下谷玉、二九番 |越荷造 海陸運送 通關代辨 金州一定期二回

清が上ラ 電四九一六番貨物自動車

のみのコバタ

六十球 意圖五拾錢

義先生創製

お袋均一問屋 大阪南属大賓寺町東之町 大阪南属大賓寺町東之町 大阪南馬大賓寺町東之町 大阪南馬大賓寺町東之町 大阪市馬大賓寺町東之町

瀬戸物へ彫り込み

博多堂, ムラタ療院 電三九二七番

中 中 夜八時迄 大連市西通九三常盤緩附近 大連市西通九三常盤緩附近 大連市西通九三常盤緩附近

アンマ

| | イマチス、婦人病、腰痛 | 神經痛、胃腸、中風、ロ 光學市伊蒙 佐井田洋行 佐井田洋行

龐撿定 一級建築技師

前九時三十分社員俱樂部に成て標 Z旗作製献金

白帆

は批印に限る

大連沙河口大正通八五 三共的會 不思慮に良効くお試めれ が表現。特別大博士あり

一日拍込一側より

家政婦

第字一切 日一圓 病人附添 日一圓 病人附添 日一圓

日

塵紙

満日案内

(可認物便郵種三第)

少年團組織

長春に本部を置

滿洲國政府

中であった宮流媛警院衛科は、 ・山中であった宮流媛警院衛科は、 ・一般の課想通り十九日を以て響 ・製に昇進したご聞き市民多蝦我 事のやうに喜んでゐる 事のやうに喜んでゐる 神会職で日本郷に二十六日は 神楽を観で満洲側の為め入場無 神会職であるさ 多数を取寄せ来る二十五では電氣宣傳の転新なフ 東集中のミニろ一人一錢宛四千人 東集中のミニろ一人一錢宛四千人 在職官民有志養起の乙族作製献金

本では、 なったのでが天後教育職は目下 昭和ホテルに止海し前記の歴代を と著に分部を各省に設置すること あった大連某派年を連れ出し紫天 を著に分部を各省に設置すること あった大連某派年を連れ出し紫天 のた大連某派年を連れ出し紫天 あった大連某派年を連れ出し紫天 は、「なりすまして就職を依頼しつゝ」 のた大連某派年を連れ出し紫天

は になりてまして就職な機種しつ x で かった大連某帯年を連れ出し続天 で あった大連某帯年を連れ出し続天 で かったものであるが、記法院と事 で 一下 楽師のレコードを作り響長 と ード 楽師のレコードを作り響長 と し か 変金 一封を贈られた

車にて離除赴低 なりを完配を解訪した、関に加藤 ののを完配を解訪した、関に加藤 ののを完配を解訪した、関に加藤 ののを完配を解訪した、関に加藤 ののである。 のので。 。 のので。 のの 新舊郵便局長挨拶 けるの排球戦 戦山艦官総會振楽部では家天際大 我な家前公園内に於て排球試合 地方事務所家族會

原

六月四日滿洲輸入組合聯合會に於 大月四日滿洲輸入組合聯合會に於 世に深遊するさ 地に深遊するさ 地に深遊するが常日は饗孫しや餘興等 を催し模擬店等あり一日を家族さ 小學校選手奉天へ

年

響され二十日午前八時着窓直に長警年學士連は所長窓木良明氏に引 鑑げれた訓練所入所生六十九名の

【遺陽】 窓際鞍山の無釈庭珠試合は十二日正午から鞍山に旅で開催することに決定出場選手は双方共

財源捻出策奉天市政公署

滿鐵の慰安車

財政會議を開催

機能が至地が日満人の慰安能した 安東は六月一日孤家子、二日李石。 安東は六月一日孤家子、二日李石。

に立つお役人の卵――内地各地で て立つお役人の卵――内地各地で 「東天」新興滿洲國の將來が何つ

遼陽庭球戰

十二日鞍山で

新興滿洲國の

家天にかける日満駅合運動會に数 田小學校代表選手十名は巡田教師 に引率され二十日午後四時發列軍

不用 品親切本位質受

貸衣 裳 口腹町 三浦

大連市吉野町大地強は

商等 等勒業債券實質並

力劍 卅打粉油有 一大連市劉城町五八府海湾

算盤の御用は

天帆

紙は此印に限る

債券

中西涌三五番地域の大きの

邦文 印 蕭 際 需

1五(悪比須町等留所削 大連市祭町二番地祭町ビル 大連市祭町二番地祭町ビル 大連市祭町二番地祭町ビル

第語四二四九世

がは は 新進の

学衣 ※ 構修用

不用品賣買

信濃町通河速町電車停留所大連市河速町五丁目二百一番大連市河速町五丁目二百一番

器電 具氣

郷軍分會年中行事

能の職教師の來在な求め廿一日午 紫の巨暴六度凝見凝一五段吉原政 満緩鬱官會大群橋支部では今風斯 柔道巡回指導

建國精神宣傳

鞍山輸組役員會

放送局

「数山」数山輸入総合では二十日 全職能の性、部門職合無職告の性、 新年度の業績及び顧問組合民勢動 に關する性、第四回事業職告の性、 を認識した を認識した

奉天馬路灣の

憲兵隊の異動 なる柔剣道の試合を行ったと数単常四大隊長機関の下に肝熱を変東完備隊では十八日午前九時か 郷軍分會總會 守備隊武道會

野大 連市大山通 小大連市大山通 小大連市大山通 小

名和 榮 次 型

電話

古着 古道具高價買工

9

男文 多・皮間・午近江町快樂館標電四三○八英學會 「大連市大山通」、小林又七支店 大連市大山通」、小林又七支店

小切 手約手割引手軽 滑代町二二 展名社電三八 岩代町二二 展名社電三八 岩化町二二 医名社電三八

ピア

小口 不要外日賦貨の相 不要外日賦貨の相

宮相教員證人

貨電 話 沙河口局內

電七二六九番大連春日町向陽社

取者が非常に多く姓成績である。
な考が非常に多く姓成績である。
な衆職取所を二十餘ケ所に設け職が送を行ってゐるが市內外に
公衆職取所を二十餘ケ所に設け職が送を行ってゐるが市內外に

滿鮮角力大會

を天 中原分除より成田歌兵看任の 日解伝長に激緩同日安東歌兵分除 一列車にて出参の響なほ後任には 一列車にて出参の響なほ後任には 大 石橋憲兵除住田歌兵は五月十七 大會へ 大會へ 在郷軍人會展願分會では來る二十九日年後一時から展願情で社に然 て定時總會を職權救論摔潰事難報 て定時總會を職權救論摔潰事難報

た確認與総人會長郷在龍は來る二 大確認與総人會長郷在龍は來る二

兎耳

目

総勝の為か十三日午後六時半から 連勝座に然で映画の夕會を催し一 連勝座に然で映画の夕會を催し一 ボンアミー ガラス●金物●漆器類

鴻立畵伯畵會

て、全満各地方居住鮮農現地保護四時二十五分餐第一七列車にて赴 主任を始め其他知友多数を招ご披 東、山口衛生課長中里蘭東聽電氣 東、山口衛生課長中里蘭東聽電氣 東、山口衛生課長中里蘭東聽電氣 大型工作がて来四山民政署長犬 新婦を迎へた旅順民政署動務河

三、言及音に 倉及聯合會經費補助に關する像 算来通過を期する為め議會に對 も請顧を為す体 場の決定及之れが實行に場時會議に於ける議案中心為で作

安

鐵嶺雜聞

二番通の 住宅移轉 不良

人が南市場方書館保壓愛玉の話にすて智楽して遮走した、線へに作りを天響して遮走した、線へに作りを天響して遮走した、線へに作りを天響して遮走した、線へに作りを天 ◆高震響部補子業政氏変機みごり さん(ことは独成験に震り入院中 のところ十九日夜死亡 る成績が悪かつたので明二十三 る成績が悪かつたので明二十三 る成績が悪かつたので明二十三

【要天】十九日午後八時半季天江 之島町四相互屋質店機井撃吉("*) たペドテラを着た一日本人が表日 たペドテラを着た一日本人が表日

Ξ **分で捕はる** ĴΈ

質屋に押入

ごてら男

い星舞踊會

・ 監地低性の少安薬であり旅館を とて軍隊歴安た兼具本年度の新信 とて軍隊歴安た兼具本年度の新信 ・ 六の二戦満緩クラブを會場さ

四池線の事故

(日曜日

郊

ではった、毎年遠く南崎、北瀬方 はなった、毎年遠く南崎、北瀬方 はなった、毎年遠く南崎、北瀬方

は天地山より天童稚兒の行列があり龍泉寺では際眼式遊廊艦談話の り龍泉寺では際眼式遊廊艦談話の

米る六月十八、九甲行事の一つ満鮮

人であたが、今回完成するに発っ 泉ヶ丘龍泉寺龍に修養の練さし水 泉ヶ丘龍泉寺龍に修養の練さし水 原塩清宗天地山妙心寺ではかれて

電燈普及映畵

妙心寺開眼式

謝行事に参加する事なほれの外毎月一日駆行の國恩慰

安養極地の相撲出場選続大に催されるものさ 兒島課長來鐵

カニ十一日 頼来蜿蜒日 開脱に向い 臨地館人金融組合の脱波調査の為 の第一

其の他の世話で開催でされ、
東の他の世話で開催でされ、
東京派の書家河上鴻立氏の書會を

大勉 開附一月廿三國斯付數室有實際 黑石礁向ふ山滿

郊外安居で領

市内三番道三丁目 原住の 馬長山 である、その土地は東抗の所有されてあるが、配らそれが、機能同所を一般をを繋ぎるので響楽電局さして、も後来非常に手古摺つてぬるもので響楽電局さして、も後来非常に手古摺つてぬるものなったのはので響楽電局さして、も後来非常に手古摺つてぬるものなったのは、一般に関係をして、一般に関係を表して、例のに関係を表して、例のに対象を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに対して、例のに関係を表して、例のに対し、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例のに関係を表して、例

傳染病發生



朝 服 かそ ちれ 会社

使心ば醫剃り 安全剃刀左 9

刀剃全安研動自一レバ

るへ使年中が刄の枚一

素より御隨意 こちらが蒼然 お歯の古色は さりながら 寂びた好みは



淋病消湯に宇留神湯 佐藤建築事務 日本橋東島 所 レの番





場らず制制開墾十五分間に重

たもつて埋まり西風黄のスペ大なる國際運動場のス

校生および全浦代

省内十七箇所の日浦小、中、好學建國記念職合大運動會の第一日は

果、被告豐崎照

るが、対していいた。

旅順の建國祝

に於て所有するものさす。八、應募原稿は「滿洲 日報社事業3返戻せず。六、入選作品に對しては添削する事あるべと。七、入選作品では審査の都合上別紙に認め原稿に示さゞる事。四、歌詞に振假名を附すること)二、用紙は半紙或は原稿用紙を使用し、片面のみ使用のこということ

人選歌詞はコロンピア

賀運動會

族職和の理想を如識に示し替て見ず熱心に見物しスポーツによる民

の内容

規定

一、一名にて數篇應募することを得《但心篇》

明子は自由にもて何等の制限なきこと 「記さする事」二、極めて大衆的のもの一二、三統曲を主とせるもの。 「一、大連情調を巧みに表現すること(但も歌剧

集募

金物の卸デパー

大野名會社

春深さ金州城外

は金州巌館に先着して秘策を練り門の佐、審判官奈良、山本國大尉

砲兵庫地三里礁に到着する、午後質級務課長が自動車を騙って北東

午後にる

いより

盛況裡に終つた第一

胚水芽晶米米

奉天の建國祝賀湾

達動會

満洲國主都を

で恐縮してゐる、取敢下滿賴社宅──齊に賦水するこいふだ

壯烈なる白兵戰

全滿靑訓演習第一日

山攻略戦智第一日は、奢色深き南一の計場指導に當る関東軍撃僚隊であっての催してある全諸常訓生の南一始された、これより共、厳智全版創立後五年ル既した常年訓練所部一山を中心さして二十日正午より開

片つ端から嚴探

花柳界など

夜に入り更に大活動

東西の手を撒げ、内臓流音の腰腰・一受け大連署では夜に入り更に膨重

可愛は見得を切つたりしてゐる



長春の水道地獄は

自都景氣の

から十六、七頭の日本種 ある(寫真は生れた小庭) - 「好ばかりの池を園んだ樹」のある蝶鹿がまだ三頭あるさうで一般でありの大黒町通りに面」が電園係鼠の話では近くお芽出た お子さん達に大人

五

電園の鹿がお産

、圓三十銭に達したがその内隷左をは纏籠二十四萬八千八百四十

郷者さして長春署に逮捕され取 帝都變電所襲撃事代に關聯した

移取扱の手により拘引版を養せ分長春領事館に押送、田畑檢事

領事館沿置場に收容さ

れた軍用飛行機「滿洲號」献納。

各地內譯

首魁隱匿の

男子の減少が目立つ

今年の入學兒童

團體見物が

料燃

石重

今明日殺到せん

コッキングス

式

好評の大滿洲國展

森井鐵工ストーブ製作所 本井 銀工ストーブ製作所

大・諸州國展一コロンパイル人の服装等に見入っ大諸州國展一コロンパイル人の服装等に見入っ

大連管内小學校の奇現象

生はてるるが昨年入學」

してゐるかその原因は一種の謎

一員〇〇〇〇でごは去る十八日標の東京二十日登」養電所襲撃隊の

取調開始

警視廳におい

味九名の

大滿洲國

展覽會の

販

賣

講演と映畵の

嫌疑濃厚

滿洲號」献金 引渡された【奉天電話】

、「魚腹(九、八二六、○○)金州 「木・二七七圓二〇)

(可認物便動種三類

號「朝鮮號」は二十日

愛國機『朝鮮號』

一十日關東軍に引渡

前後の事情から

人の行方については長春、吉林、 し首魁の逃走に関しては一派の蒐集に努力を振つてゐる、 大連民政器では管内を小原校に於りた。大連民政器では管内を小原校に於明をかつたさ云ふのでその数字を標準調査中であつたが四月一日理機能調査中であったが四月一日理を標準調査中であったが四月一日理を開発している。

百四十九名総少を楽してゐるその 内譯は 姓別 本年入學数 前年比較 サラーニニセ 滅 一四一 サテーニニン 減 一四一

地較し二百名の増加を売してる場がかれた。

共同浴場ご建築用水を制限 事の場合保安上の野策さして撒水 事の場合保安上の對策さして撤 法をさるこさりなった「長春

みの内に四谷南町の私邸に引揚た

地へ解省

白川司令官

の自動車に分乗

市內松屬重六香地滿鐵醫院器師永

歸郷中に泥棒

日は午前十時から官邸日本間で慌って後早へも被よ日を逃へた本二十一段後早へも被よ日を逃へた本二十一日後別大統首権財政 故犬養首相 初七日 上野寛永寺で

事に

市たくしき政界の懸行さなよそに上の動物の動物の影が健ゆる千代子本亡の動物の動物を見る手代子本亡の 元氣体

昨夜十時半の三百 元氣恢復と一同

二十一日北市場に於て滿洲門信紙にて取躙中【奉天電話】 便衣隊長捕はる

22204

これを見た日の悪い某れが保野 かなはだ、僕はあんなにズボンの なはだ、僕はあんなにズボンの なはだ、僕はあんなにズボンの 精練でござる。 を時間をスリ取られてから満 がインキな父さんも昨今非常に がインキな父さんも昨今非常に さころが去る十 五日の日曜日に

能 灌一化 粧一粉 末 組合 離貨店 藥店 小間物店に販賣す 一番 賣 元 石 村 阁 店

R

場時

所日

七階大ホール

ノスの夕

るやうさいふ念の入つたスタイ でゐるし、服ご外雲には煙草の でゐるし、服ご外雲には煙草の でゐるし、服ご外雲には煙草の 雅である」に出 産地の出切の出切る 〇田場會次第詳細通知す

お、十三日検察官の論告、求刑もの分は公外分離さなり他は決審來の分は公外分離さなり他は決審來の分は公外分離となり他は決審來

スター等を珍しく批評しながら入場、趣風祭前後のスローガン

っ一の注文は今日も十十

ゴム製造機械 (聖経典性用)

原料藥品諸機械商

野師海川三五一六、四五二五

院長 内田鎮一

高女、山脇高女等の駆然見物のと語った、土曜、日曜は市内府

込みがあり却々盛んなものである

亀

8 本各地名産 界各國酒 モンシ 大山通の ツツブブ 類 樂娱の一唯時夏 雑慰のゴ無暑盛 食 ムーリクスイア 料品 種各 料原

店

末日限 月 四 **国** 木

服非常大處分

| 銀吾平椿油 かざや油舗 かざや油舗

南小山國東口前 版質元 平野 商東京守任原町 製造元 平野 商 店

商品の要様にお迷ひなさる方」は直ちにお試しあれた業して不是までお困りの方。は直ちにお試しあれ 「物命望の方は那然」十銭送れ現品規定書送る 一間は一見に如かず 一間は一見に如かず

行

器物の耐久力とは「大

希望者寫真履歷書送れ採否通知す事務用品及は自動車用品販賣に經驗あり且つ可成無

確

實

就

職

E

レコード件奏 ホ テ

來るべき選手權大會の足調べに・・・・ ダンスのスポーツ化!! 0 T 0 東 0

自由

■現金廉

浪速町

五月三十一日

百百百

9734 番

3.00 1.65 .80 來地レ

.20...... 7.20 .22...... .50 .28..... 2.00 .60..... 1.80 .30..... 1.25 6.90 6.50

コ ツ, ブキ打 コツプ 豪辛打 アイス 皿牛打 ベリセット 三ツ組井

ご答へた。マリアは失望した

にかく普通人の眼でないことは

「えゝ、でも、旅で塗ったのでは

▲補洲工業誘座「輕金屬工業」松浦

八都山流本曲「若葉」松田玄山

た時、老女がこの世の普通の人間 たいものだった――庭なし海のたってのでうに確認に張り切ってぬて、 でうにすみ切って無限の語けさん。 たいものだった――庭なし海のたったってくるた。マリアはそれを見いまのたった――

河野想多畵

(291)

ス知れず機む で

ぜんそく

治療

服

功の

から

第

線

際松尾對

ではれて、冷かしてなほ話しくその姿にれて、冷かい恐怖に願へながら

て印い脚紙をはき、揺衅に出てるいが樹の根のやうな確定さを持ついが樹の根のやうな確定さを持つ

着し法その者に政府

IJ

ま

世

う

(の) ◆本報に「婦人の懐みにこたへる ・ 政督」な流人氣の人々出世幸運物 ・ 野」な流人氣の人々出世幸運物 ・ で八美人素・家庭欄の豐富なこ ・ で八美人素・家庭欄の豐富なこ ・ で八美人素・家庭欄の豐富なこ

東京藥院 東京藥院

ムラグロブ -000-

活

復チ捕き肉上海が明明 東ツブブリカー 南彈海洲郷族

負傷戰 外面投入面は全國東 集つた外面は 永 大三里小 士 0) 慰 一屋の割合に森永で計算し陸海軍省 ・加盟新聞社其他便宜の處にあります 凾 問 金 (ミルクチョコレート) 12 ts ります















孙时

連 J Q A K

午後六時十分

主催

事支 變那

入後接會

同五月二十四日

安東

安

東

講演出演者

Ħ.

月二十三日 年後六時半

撫順

講演出演者

定堂

會 未

映

書

E

講

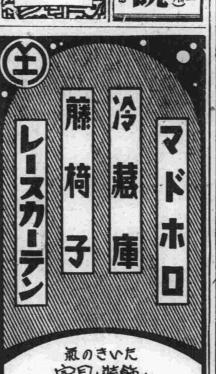
演

で頭痛をなは

す

超ス

to the state of th # 15元



家見と裝飾は連市伊勢町大 電話七九六八番



自力が一日一くなる▲隆鼻器無料貨奥▼

安全





乳兒の泣聲

乳兒の泣摩はその時々によってよく注意せればなりません 即ち ◇お乳を欲しがるのか ◇のどが乾くのか ◇痛い のか ◇驚いたのか ◇苦しいのか ◇悲しいのか 發熱、便秘、腹痛、腸内酸酵等に苦しむ結

.......... に 御 注 意

果の泣聲があります。總じて足を屈めて泣 くのは腹工合のわるい時に多いのです。 かりる場合には小兒科醫に診察を願ふことは最も

必要ですが、臨機の處置として全國醫家に最も廣 く愛用されてゐる

服用し易い …… むしろ喜んで服用する 整膓消化劑 ビオフェルミン

を應用して下さい

(ピオフエルミンには粉末と錠類あり、知名薬店に販賣す)



社业









野し忌憚なき所能を扱趣し の際政業に基礎を置かざる超 器内閣、若しくはファッショ内 閣出現は決して時局を匡敦する 関出現は決して時局を匡敦する がいる場合は立 でかいる場合は立



四園寺公の 早くもあす午後 大命降下は一 一十三日か

十二日午後か又は二十三日さなる模様であるが、結局大命降下は二十三日さなるのではなからうかで観測されて所謂重臣方配全部さ意見交換を貸し、機態の考慮を振ってゐるが、原國の販勢に鑑み御下問に對する基答は早くとも一中の懸があり、聞公は二十日の高標職機、鴛鴦園長、镀野内府等を會見に飛渡き、更に二十一日山本館、潜槐民政總裁、潛瀧館を會見、中の懸があり、聞公の上京後緊踱を示してゐた政局は今や混沌として政權の歸向俄に豫斷を許さず五里豫、『東京二十一日景』 聞公の上京後緊踱を示してゐた政局は今や混沌として政權の歸向俄に豫斷を許さず五里豫

重臣の意見 園公本日中に奉答は困難 致せず

、山本伯を出馬せしめ政、民雨黨總裁を入間せしめ他に第一流の人物を網維と舉國一致內閣を作つた方が良く、平沼氏は軍部 関係はうまく行くとしても、議會政黨政治の養達とた今日果とて政黨を除外とてやつて行けるかの (東京三十一日衰) 西國寺公は事他總養と共に東京の政徳底察をなら、一方近衛公は政局の論響をつかまんさ、昨日鈴木佛織、高ि藤成立です、賦公は全くこの情報に誤られた鬻で、称繁重大を慰知とた関公は政局の論響をつかまんさ、昨日鈴木佛織、高ि藤成立です、賦公は全くこの情報に誤られた鬻で、称繁重大を慰知とた関公は政局の論響をつかまんさ、昨日鈴木佛織、高橋蔵様、倉富成立です、賦公は全くこの情報に誤られた鬻で、称繁重大を慰知とお問公は政局の論響をつかまんさ、昨日鈴木佛織、高橋蔵様、倉富成立です、既公は全くこの情報に誤られた鬻で、称繁重大を慰知といるの人京さなつた次第なるも、事党は軍部と鈴木氏さの説を取立せると、一方近衛公なとして情報を集め情勢の見極めつき次第上京する手管、東京三十一日衰」西國寺公は事代總衰を共に東京の政徳底察をなら、一方近衛公などて情報を集め情勢の見極めつき次第上京する手管

、刻下の急務は軍部の激發せる感情を抑へるにあり、此際平沼氏をして内閣を組織せらめては如何、、有日の如く財界の危機に際しては高橋氏を首班とする内閣を作り高橋氏を薫より脱退せらめ赤裸々の政治家さらて廣く

刀観されてゐる李沼氏に對しては宮中方面に反對者ありと像へられ、從つて本日中に

争さなったが、風元帥さ園 「興元郎の意見た醴販すを事さなり、**兩元帥に會見を申込んだ** 総果、展元郎は二十一日午後駿河窯の私邸に賦公を訪問する**机制を如何にすべきか**につき元老さらて詳細を知悉らて置く必要があるため、陸軍の長老上院元郎、海軍の長老東艦元郎を揺れるする「大橋襲で、賦公は後継内閣に関する河下間に必要するについては軍部の襲急を醴販すると同時に **今後の軍部の**じっその後繼者としては平沼 騏一郎男、山本權兵衛伯、又は齋藤實子を局に當らしむるが適當を態態にからこの際越憲派師で参方館の人様を終業と得る存力人物をもて後郷内閣を組織せらめ、時房を収拾するより帰ないと所信を披露師だからこの際越憲派師で参方館の人様を終業と得る存力人物をもて後郷内閣を組織せらめ、時房を収拾するより帰ないと所信を披露師だからこの際越憲派師で参方館の人様を終業と得る存力人物をもて後郷内閣を組織せらめ、時房を収拾するより帰ないと所信を披露師でからこの際越憲派師で参方館の人様を終業と得る存力人物をもて後郷内閣を組織せらめ、時房を収拾するより帰ないと所信を披露師でからこの際越憲派師で参方館の人様を終業と得る存力人物をもて後郷内閣を組織せらめ、時房を収拾するより帰ないと所信を披露師でからこの際越憲派師で参方館の人様を終業と得る存力人物をもて後郷内閣を組織せらめ、時房を収拾するより帰ないと所信を披露師でから、 東京二十一日餐】牧野四府は二十日園公さの會見で、 陸海兩元帥けふ園公訪問 政無政治は素より擁護せればならわが、今日の事態は最も難局、又軍部の動向も

山本伯或は乘出すか

(日曜日)

で、二十日の會見で之た戲公に像へたので、老公は先づ山本館に出場の意思ありやな山之四氏に確むるものご觀られ、山本館の態度試視から多大の注意が向けられてゐるが、牧野內府は時局收拾のため山本館をして 擧國一 致 内閣組織の意向【東京二十日發】圏公は二十一日重臣の意見な聴取するが、山本館との會見に幾立ち、山本館の後郷だる山之四一次氏を揺く事は答対館

時十分翻奨したが、入れ塗のに奈良停徹武官長は鼠公邸な訪問換拶を述べ直に翻奨した。山本館の都合によっては鼠公より出題へてもよいさの意味を除へしめた、よって山之四氏は山本館と打合せのため九曜東京廿一日登、山本館は大瓢館なるため閣公も特に破意を搬ひ、同館に観迹の山之内一次氏を今朝九時駿河臺の本『東京廿一日登』山本館は大瓢館なるため閣公も特に破意を搬ひ、同館に観迹の山之内一次氏を今朝九時駿河臺の本 超然内閣は斷乎排擊

で、考へを率直に申上げた、勿 のため不自私にも如何に形勢を のため不自私にも如何に形勢を のため不自私にも如何に形勢を のため不自私にも如何に形勢を のため不自私にも如何に形勢を

園公に

對策上奏 一如き機めて注目すべき所能を際続きれた全國地・十日午後一時から際催された全國

率直に意見を

若槻總裁語る

民政首腦打合

と同四十分辭去とた。

荒木陸相、參謀長會議におい 軍律に關し訓示

二十日午後四時軍事参議官會議後

總監陸相協議

荒木陸相に

陸海相留任要請

「東京二十一日費」後職後粉核よ ・ 在郷軍人代表 ・ 本選権を訴ひ隆根辞職を勘告さた意識のもさに意識に惹った。 ・ 本選権を訴ひ隆根辞職を勘告さた。 ・ 本選権を訴ひ隆根辞職を勘告さた。 ・ 大選権を訴ひ隆根辞職を勘告さた。 ・ 大選権を訴ひ隆根辞職を勘告さた。 ・ 大選権を訴ひ隆根辞職を勘告さた。

電がであり、更に之に佐ります、大 の産業を繋かすここになります、大 の産業を繋がすここになります、大

去、同十時には鳩山文権來訪、鈴につき意見を交換し、同九時中離に訪び本日の有志代議士會 局の推移な無難中である を固守するか或はこの非常時なる な固守するか或はこの非常時なる でのもので同繁幹部は緊張神に時 でのもので同繁幹部は緊張神に時 【東京二十一日数】鈴木政友會総 木線銭と政局警後策につき無談し 形勢は頗る混亂してゐるやうだが、我輩は協力内閣さか、集職である一致内閣さかは依然反對である一致内閣さかは依然反對である一致内閣さかは依然反對である一致内閣さか、非國が、我輩は協力内閣さか、非國が、我輩は協力内閣さか、非國が、我輩は協力内閣さか、非國が、我輩は協力内閣されている。 事長は二十一日午前九時鈴木總裁『東京二十一日發』山口政友會輸 東京二十一日發】民政黨二十日 政友首腦協議 フアツショ 排擊中合 協力內閣に反對 民政黨二十 皇軍 鈴木政友總裁語る 電水電子 一日登 民政際前代議士 | 大阪ビルの事務所において前代 | 大阪ビルの事務が、日本を持ち、 フアツショ排撃を申合せた 民政前代議士會 一回あり十一時頭小鹿な像のる外、一回あり十一時頭小鹿なりまと腹部 共に、之が具體的運動が、東に三級率に有志代が、東に三級率に有志代 一時軍司令部發表一白地 んさする情熱あるに ル艦隊 世一日午前十 意識明瞭、依然小膨狀態なるも、 は順大將の容 筒細心の注意を以て加索しつゝあ 的淵三十七度 り、昨日は殆ど絶食、原料一大〇 一七、昨夜五 〇グラム便通なし

は、 の容骸につき兵站病院の軍略語る 十九日騰貧血の外に腸出血もあったので輸血三百五を行び二十 日朝更に三百五を輸血、午後十 時第三回目の輸血を行び二十 日朝更に三百五を輸血、年後十

數回輸血を行ふ

巡洋艦の大牛を包含する米海軍の機能であつて、同艦隊は今回の大連智に参加のため太平洋に逓航令のお力低線艦隊に巡洋戦艦、水雷戦艦、航空戦隊、練智艦隊より成れるグスター號以下一萬順緩のお力低線艦隊に避らて大連智能、水雷戦艦、航空戦隊、練智艦隊より成れるグスター號以下一萬順緩のお力低線艦隊に避らて大連智能となった。 との結果今回の決定に至ったものと観られてどからワシントンに帰還した電時ブラット提督と會見、その結果今回の決定に至ったものと観られてどか会に対して米海軍常局は何等記明を興へないが、該決定は國務長官スチムソン氏が過程ジュネー関係会に跳して米海軍常局は何等記明を興へないが、該決定は國務長官スチムソン氏が過程ジュネー関係会に跳して大連智能、水雷戦隊とは、海軍を会には、大西洋艦隊を包含する米海軍衛軍を表演者は敵々五月二十八日で終了する豫定であるが、海軍を全部は大西洋艦隊を包含する米海軍衛軍を表演者は敵々五月二十八日で終了する豫定であるが、海軍を全部は大西洋艦隊を包含する米海軍衛軍を開かる 『ワシントン二十日後』百餘隻の艦艇と四萬人の人員を總動員とて目下 十月迄太平洋上に殘留

大平洋上に顕行中のアメリ

存在して居るやうに、世界の大勢本だけの原料生産地さして満洲が を無視する人々はいふ、否今まで の関係が恰良さうであります、日 農業移植民で農産物加工さ 今後 移植民 に就い 满蒙

はさうであったか知らわが、今後 の運命は決してそんな桃源の夢は

意味に於て前述の石炭問題でも、 を一層良好な生活狀態に 敷納し得れのでなく、さうした内外の大衆 割込んで戦物にも得るやうになっ 石の特産物が三千萬石に増加すれ ば好いではないか」を答へま

憲政擁護努力 政友幹部の意見

重臣の訪問相踵ぐ西園寺公邸

多数な有する我常郷裁で意見交換の結果、後繼内 破壊されるが如き事あ 若と軍部一部の運動で立場安定を期することは出 本、潜派、岩螺三重臣は會見後、本、潜派、岩螺三重臣は會見後、根を私邸に探致し現下の事骸を評 【東京二十一日發】貴族院議員山 山之內一次氏 山本伯訪問

協議を行った協議を行った

頭等

近衛公園公訪問

★社會課

離去した

齋藤子訪問 財部大將ける

文が軍中將は二十一日夜北行後定立、文次軍中將は二十一日夜北行後定立、文次軍中將は二十一日夜北行後定立、の處梁陽衛戍が院の傷滅兵を間のの處梁陽衛戍が院の傷滅兵を間のの。

幾千萬頭の音楽であるが、

堀內中將動靜

行出級の筈

二十二日午後一時

「皇軍の行

めに起たなければならぬさいふにために一大事だから憲政権護のた 三相から事情 民政黨ご連絡、護憲運動を起すか 黑政治死守 を 之内一次氏は二十一日や前九時頭の 西園寺公の揺さにより駿河歌の駅 で と内一次氏は二十一日や前九時頭の 西園寺公の掘さにより駿河歌の駅 は山本伯の命を受け午後零時代上 入り同俗に老公さの會見題就を 東郷元帥で會見 は二十一日午後一時逗子の別邸に「無職選子を誤した」「は二十一日午後一時逗子の別邸に「無か黙談した」なに寮職子は二十三日上京の筈で

聽取

意見一致し

公政友會有志會合

無な無視して超然内閣

題るこ共に強硬なる意思を 連絡を取り一大護憲運動を起て事す模様であるが、或は民政黨でも 下で恢復に向つてゐる で恢復に向つてゐる 務課長以下二十七名で退職金約 英国は近く追加豫算さらて市會に 市役所退職者 宝なきにあらす。 後継内閣組織問題の形勢になほど 後継内閣組織問題の形勢になる。

披瀝して遺憾なし。

兼備する正義の軍である」と。

理想を持ち、

大橋に悪く、大橋に悪く、力を養暉する。

0

▲財務課 主事課長 書記 徴収主任 書記 徴収主任

へ將の容體

さなるかも知れない

けふは稍小康狀態

新田外次郎 島崎 喜平 を軽石五郎 の共同目的達成のためには何さかな。東大時局打除にはいふまでもない。 安協脈がありさうなものだ。

まけに新規の借財(公債)が六自慢ちやないが空前の尨大豫第

演む、濟まねのはたく資格加重の クヨくするない赤字を出しや

農業に関して、何等の思索など

熨 產 即ち四割三分の減額を示して居ります の如くであります。 時計略人 東京和 大年 四百夢拾九萬 画 輸入激 愛 用 减

は紙を何處に探り、農具を傾属に民計蔵に大農法の総介が保験され、 て日本は如何なる準備を現有する

の憲政擁護が野立してるかに見え、衆の直接利無たる農業職養上の今の所軍部の無奈排撃さ、政憲に表ふべき問題の一つであり、くこもそれが今の滿洲建國の慧 を旅行に及ぶものはない、佛も鬼 整旅行に及ぶものはない、佛も鬼 整様とた今日でも、郷密郷密の徒 整様とた今日でも、郷密郷密の徒 も多線の産出を流して居ります、 東に審雇に放ても質さ量さ共に世 が、かうし あた資源が有する國土の際沃か云為 でするよりも、私の感覚するのはそ 氏を同伴して、滿鏡會社の農務課 本國滿洲の現狀並に今後 ります、機械工業 徳中時計 十七形セイコーシャ、ライト 十七形ナルダン型 セイコト プラチナ側… 十八金側 王等景品(置時計)一個を贈上げと同時に抽籤券一枚と上げと同時に抽籤券一枚と 全國時計店にて 12 主催精工 景品內 拾壹萬六千圓也 景品附特賣中 三笠 著音器 タイヤ入指輪 子 三味胴型 八形セイコー 九四回り 九形セイコー 十形セイコー 九圓五十鏡ョリ 三十五回ョリ 八四五十億ヨリ セッ 九形クローム側 十圓五十鎬ヨリ 十八金側…… 十一國五十錢ヨリ 十八金側…… 十八金側 百四十五週ョリ 太平町四 五回ョリ

歸らず活躍する

の修理に當つてゐた滿靈從翠崑中長春機關區驗粉繞政次郎【馬船日二十日簽】事變前より不穩在松津鏡で機關車々暢

松浦鎮の滿鐵從業員

八日夕刻長春にある父死すさの電報を受取ったので

=

西大連を大

へ連署と重大打合せ

+

=

1000より長春に赴く旨の電報が到着してゐたので午後一時着の列の00より長春に赴く旨の電報が到着してゐたので午後一時着の列車を驛頭に迎へ000と共に日本橋通り市場食堂で會食した事實はあるがその後彼等は00の宿舎萬合公に行つたものか同夜十時十九分發列車で000だけハルビンに高飛したものか同夜十時十九分發列車で000だけハルビンに高飛したものか同夜十時十九分發列車で000だけハルビンに高飛したものか同夜十時十九分發列車で000だけハルビンに高飛したものか可夜十時一日に潜伏してゐるか判然してゐないやうだ長春響の海動が彼等が市場意思で含義後に潜行してゐるか判然してゐないやうだ長春響の海動が彼等が市場意思で含義後に潜行してゐるが見るというにより、日下田城徹事々務助援びた。

同會射場に於て第五十回小銃射撃に二十二十年前八時より春日池畔 大連市民射撃會では本社後援の下

間の鐵道復舊

捜査頗る困難となる

機察を塗げて踏速したが、二十一 機察を塗げて踏速したが、二十一

睨まれた被服

を富錦方面に原迫してゐる

的協議を行ふこさいなった

小銃射擊會

あす春日池畔

を購入て來署大内署長、米本高等、熊谷司法屬·法低等と署長室にて秘密裡に打合せて廢井大連司法法を購入て來署大内署長、米本高等、熊谷司法屬·法医二十一日は早朝より大連署藤井司法志低が刑事三名大活動さなつたが、沙沙口署では午後三時ごろに至り実所より候事か重大なる通報に搭したものゝ如 大活動さなつたが、沙沙口塞では午後三時ごろに至り薬所より候事が膨大なる通報に擽したものと処奈都變電所襲撃の農民決死隊一味の大連潜入の報に擦した市内答案では二十日來記試、高等瞬刑事の

能さその數一千五六百である、まである、本の部隊におけて那人二名を排致した機樣。

部線において邦人二名を放致した

西部線の兵匪

拉致邦人を

勇士自殺す

不時着後に捕はれて

低十一時過ぎ暗暑同署では飛續き壁ケ浦、撃鐵銀方面の大捜査を開始した

海軍派遣部隊 北滿で奮戦

優勢な敵を撃退して 一名戦死し三名頁傷 の報るる松花江浦洲園江防艦隊は まる四月二十六日ハルビンを登し まる四月二十六日ハルビンを登し に五月三日の通河攻撃のなり活 で、兵胆振濤のため活 で、五月三日の通河攻撃の知きは を立まったが、一般にから が、大胆振濤のため活 で、大胆振濤のため活 で、大胆振濤のなりに で、大胆振濤のなりに で、大胆振濤のが、大胆振濤のため活

沙村

能験は五月十九日午後〇〇に於 一年部隊の輸送が援助する目館を 工防艦隊 據さ共に更に下流方の 反吉軍の

に下流方面に遊戦し酸としてもと驚厥の跡を見せても

と旅党版況を報告とた『長春電話』 て陈維昭より辮長直に執政に面調 日午後四時二十九分養東支列車に

軍の討伐隊總司令張淳鵬氏は二十状餘方面に蟠居してゐる李潔清師

討伐狀況報告

送内容不許可米人記者の放

【ハルビン特電二十日整】尹祖乾

哈市を狙ふ

敗兵

際史的瞬間」と題する故大養育様 の古武士的死を中心さする見聞談

【東京二十日發】二十一日午前七

銃劍交ゆ內彈戰

全滿靑訓演習第二日

山戦跡に

の日来國際放送は内容不許可のた

帝調生はこの日四時昨夜來の

党の合領に熟睡出来

漁船を掠奪して渡河

日滿兩國旗を

11日後所主催本社後援の下に開催 する五月祭終了直後南浦工事ラグ ビー部ご野戦する

奉天の建國記念祝賀運動會

~火蓋を切る

単な全滅せらめん

本日自邸で 脳溢前で 逝去した、享かがあってりてよ・ペンソン 提督は かんしょう アシントンニー 日愛 一米海軍の

各 夏種 に反撃奮戦し之を撃退せりたて優勢なる敵の攻撃を受ける

計報に

意は有難いが職務完了までは飼くまで踏留まるとて目下 ころな氏は職務の前には何物もない御好

定して、警視際は廿日左の娘を香に窓長か加入してゐるこの噂を香

合圖する五月祭

黒田少將歸國 久留米市 在住黒田周一少將はさきに來滿、 各中等學校において陣中美談の講 金部終了したので二十一日來連、 二十二日のはるび入丸で歸國の途

雨天の時は廿九日に

警視廳發表

大連工事ラ式戦

今回の不祥事件に際と憲兵下士 の加入せるやの噂を爲すものも あるが石は誤傳で、その事實な

市役所記鑑本社後級の五川祭の日大連の全安性が待ちに待つた大連

大連地方



六 百 三

千

車の輸送に當つてゐるがその

阿原の隊長は護衛兵と

ふ宗祖降誕會 株成本願寺別院

滿鐵爆破計畫 また學良の陰謀暴露

仮には落着く

心配な明日のお天氣

新原館が多数参加

理 また間楽樂さしてピクターでは新 が雨天の際には二十九日に延期するが廿二日銀行の際には二十九日に延期するが廿二日銀行の際は午前正九時 が断天の際には二十九日に延期するが廿二日銀行の際は午前正九時

ただけに常日のお天氣を除く 西の黒で曇りがと 安心の出来が、数

関東州無陸士食くは遠て新國家の 司法継座の樹立に際して民機機 の立場から献策をなさんさし委員 の立場から献策をなさんさし委員 を駆けて研究する一方過般高統。 本駆けて研究する一方過般高統。 制度調查報告 新國家の司

法

懇切丁郷に教授

一時ごる飛行機飛来、高等飛行な一行ひ殿意を表した『年天電話』

米艦來るに

三越三階ホールにて午後一時よ

青島のド

演習後東洋艦隊碇泊

終つて同場所に各音訓所別に整要へて終了した。

後、巡捕一個二十九銭であった。 警官の不平であるは警部補以下巡査、巡捕が被な管官を合選しないのにこのうへの に警部補以下巡査、巡捕が被な官吏を合選しない。 服料さして毎月支給される手當の方法があらうに ないのにこのうへの 額下げに警官の悲鳴 元來が被服料さしては認まれてる 五月分から頼下げさなり繋部補は

大連實業野球團後接會行之通り二候也

會奏演ドーコレアビムロ

曜日日二十二月五

電氣遊園音樂堂にて午後一時より

銀鈴少女會の新作舞踊

レコードコンサー

新譜レコードコンサ

遼東七階ホール

午後七時よ

ダンシング、

レコードコンサ

時に前景氣な嫌つてな

オサーカス

様様であるが、この大きな波は大 をも縦をダンサーその他が集まる をも縦をダンサーその他が集まる 佐世保海兵團

では大狼狽を極めてゐる 醉拂つて御難

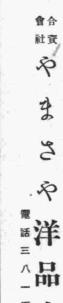
集め芝罘に行き一様に行って東

付

3

店舗改築に 全

製品、和 町三丁 和洋雑貨 目 女 马









五日頃群島に到着し、大漢智後は 郷土の世島に現都し森島、芝罘地で大 郷土の大田の野野町二十 の水兵さんな常て込み、既にロシかけて來るさ云ふので、ドルの國 なり、從つて土宜速中の家族も挑終二ヶ月間市島に徹在することと

【ウヰンナ二十一發】デ杯戦歐洲 ン二回覧ドイツ芸オ デ盃歐洲戰

ンド勝ちアイルランドは二勝一時ガリー第二日ダアルスはアイルラ 【ダブリン二十日發】デ流戦欧州 一日のシング

産婆に

7年3年九 京語 六八三四

腎臓病に玉蜀黍毛

日本橋東局

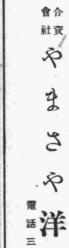
SK. 208

色は黒ても 南洋じや美人・ 南洋じや美人・ まだ美人ラララララ

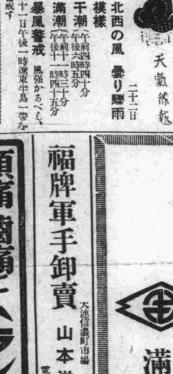
電中の處議正天然痘ご決定演兵職 関兵堀日國雄(三)は十六日發病手 関兵堀日國雄(三)は十六日發病手 に天然痘發生

和た象徴して空高く飛び立つ、や活能の中より各五羽づくの焼は平

さ意紙幣く高し、一方北軍は金 た市内東町の支那解場が選案側でおって、 は今回風本政氏の名義で陳葉館の十八萬個で新築するに決定し二階でコンクリート壁の訳義に取掛って 永善茶園改築









けるの小洋相場(正生



照称ごのし

て、触れる悲痛な主殿の聲。

、脈け寄る途端、

斬り伏せて

つて我知らず相挽いた二人。

◇心燃ゆる女性◇また河合のお涙頂戴映画では例によ

電四四九一番 滿洲日報社廣告

何時の間にか提灯の火も消えて

東京・中野

リ下から鍔元で受けてゐたが、

で、折から盛が使力の土手堤を で、折から盛が使力の土手堤を

研究にも似た風情。 おいながら、野さ楽で おいながら、野さ楽で おいながら、野さ楽で おいながら、野さ楽で

下して來る主殿の戦車刀を息も繼がせず鎮甲、左右から打。

光がふつつり消えて、漕ぎ下つて

二級権の音が次第に遠ざかつ

月より十二日迄に於ける統計はさ、交部教社會教育局の民衆経験郷産

第画巻りの大衆奥行ん織け過太郎の「振袖勝進」を上映▲常嶽座がいよく〜一萬人會最楽集の六月線でよく一直人會最楽集の六月線である。

随客れ整へた◆このプロな實行すが七月に遡つたくけで素晴らしいが七月に遡つたくけで素晴らしい

登の銃撃。 電い川面に難く

製作種別

各社の特色

日本映畵の

中央映議館が機然家足な呼んで土 地川に入ったが A けふからは寝館 が河合のお源瀬鉄映画「心燃ゆる が関合のお源瀬鉄映画「心燃ゆる が関合のお源瀬鉄映画「心燃ゆる

中央映議館が俄然客足を呼んで土座が好調を示し、一二日目に入って

輸入品を壓倒す

「えい、えい、えい、えい 既枝はさ見れば

たつにかさ見れば、際に飛び交 作樂は純暢総命、飛鳥の如く跳 立ちはだからんさする間髪の隙。思はず難な上げて、照我の前に思すがな上げて、照我の前にさ、見て修樂。

「乾……」

常盤座の

二人は脱兎のやうに心岸へ脈け

と、これへ」 「由井氏、脈枝ざの、お無事か、 「由井氏、脈枝ざの、お無事か、

一人の方へ漕ぎ寄せて来る一般の

横に拂った安定の一刀 京棚ひの一 言葉も周章しく、船は二人を乗ってか、系けない」 東大踏んで、口々に叫人である。 せて、岸を離れる様 川岸の上た騙け廻りながら、 歩兵隊の一群。陸には、早くも騙けつけた捕方

コンしが確定せず陳定よ

なった。これが、こてゐる、又時代喜劇なここれが、これが、こてゐる、又時代喜劇

販売の調料を

尾の

新り決定を待ち直に交流して飛行 を表現であるが、来る廿三日の 賞楽集中であるが、来る廿三日の 賞楽集中であるが、来る廿三日の て來る卅一日又は六月一日初日で便でブリントを取寄せる計畫をた 機得披露寒行は目下上晩低品を懸大日活の不二味叢全満全支配給機 映することになった 大日活の不二映畵

本祭輔一行の撮影隊は今夜八時大下口の満口監督、新興キネマの村

連曝着列車で歸連し、約一週間大

ででは、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 我軍は キユーピー 匪賊を掃蕩し

ヤズバンドの一行である 子及びAKでお馴染のロー

溝口監督ら

今夜歸連

當分滯在撮影

劇團は澤モリノ、土屋梧崩森喜美以上の如くで第四週の東京オペラ



美味にして 食慾を増進する 滋養に富み 無しですませの調味品 御食堂にも御家庭にも グリンピース トマトリース トマト知愛

サラダ料理に御試用を 食品工業株式會社 入院の應需

施實々愈法行興ンダモたつ合とリタピル衆大 れら觀が物催の他其や畵映で圓壹の只月ケー 迄日一卅!切締賣發りよ日廿よいよい!すま

先の代時ぞれこ!手握のンアフと者營經 刻速!急至りあ限制に員人

來るべき六月の日のブラン

J

ミノルヤ果物店 置3873番

高手斬新なな実力の特長なな食 トミノ 1 ウ

著ラチオ

界

0

米國ブランスウヰツク會社製

安價提供

但臺數に限りあり

電話五一六一番 三 星 洋行經營

果然

方に御滿足を與へる事と確信致します 優美の絶對なるを世に誇り、 連 勢町 一〇六 必ずやお客様

極樂二人組

本機は一九三二年型にしてその體裁、

音色

蓄音器 超 ビネー 高 シ 級 ョン 型

荷案內

蓄音器 店

關稅改正案を可決

原案通

銑鐵關稅は二十六割引上ぐ

在貨量

十五乃至廿萬噸

きのふ關稅調查會

年は北浦一帯の治安不安のためおから柳常の出題りを見てゐるがうから柳常の出題りを見てゐるがう

ある

建築現業員の

窮境打開策

公認組合組織の氣運

関東廰でも追って對策研究

満洲の業界蘇生

從來の玉糸等は驅逐して

内地向輸出増加せん

第一八一號日系(系統、廠系)」一般に依て今まで受難の一路を辿っ一に強る

したに依る、棉花は

花の輸入は減少するものこ見らる 増加すべく総系がご支那以外の谷花の輸入は減少するものこ見らる 増加すべく総系がご支那以外の谷窓が五月中には大部分が輸入され 品の輸入も減少と一が輸出に滞貨係から中旬の輸入額も框部多がつ に関する、進つて今後はこれ等職の、次の輸入を減少と一が輸出に滞貨をあり、四川港の契約品が多かつた關の低落に競ってゐるのは頗る法目

では、小髪、羊毛、機械頻等を端 かさ見られてゐる 機が引上げの見越し輸入も標花、 り多少管ら出越さなるのではな 大量に上り來る臨時議會に於ける 領が現て入越に一鞭して中領場 領が現て入越に一鞭して中領場 地は比較能襲調であるから六月- が加すべく緩和が立支那以外のの

低落 硫炭は三パーセントの

今秋大連で 協會本部、正式に照會

は、 る大會に野歌の駆心満洲新國家の 内地谷縣に於ける総合の意味と大きに日滿國の取出關係に きつきので、二十日東京本部よ り正式に滿洲重要物産総合では直に満て除籃を変する。 されたきよう照會があつた、よっ と、過級同處會東京本部より非公 されたきよう照會があった、よっ と、過級同處會東京本部より主式に滿洲重要物産総合に繋じる。 たれたきょう照會があった、よっ と、 これにきょう照會があった、よっ と、 これにきょう照會があった。よっ と、 これにきょう照像があった。 これにきょう照像があった。 これにきょう照像があった。 これにきょう照像があった。 これにきょう照像があった。 これにきょう照像があった。 これにきょう照像があった。 これにきょう照像があった。 これにきょう照像があった。 これにきょうに関係を関係を関係を表する姿である。 これにきょうには、 これにきょうにない。 これにきょうには、 これに対して、 これに対し、

作蠶糸の免税で

特産協會大會は

の一般は三百卅二萬六百九十九圓、そこの一段に上野工場駅百二十工場、生産総によれて「大選大工場駅百二十工場、生産総によれて、大連民政警機工係網管=三月中の一段により、大連民政警機工係網管=三月中の一段に

の販賞總額は二百七十八萬四千六百八十六個、月末現在ストックは二百一萬四千五百五十六個、これ一百八十六個、日末現在ストックは一個は六十八萬四千六四、これで前月に比すれば正場數六、生産を前月に比すれば正場數六、生産 少を示してゐる今各主要工業別にクは十八萬一千三百六十二圓の減 を共に増加しその月沫現在ストツ

販賞額六十三萬五千五百五十四圓

奉天の工場地帶

쉟

敷地申込み多數

豫想さる大工場

101/02 10 ○ 型型を置める
○ 型型を置める
では、
では、</p を天鍛道西一幣七十萬城の工場市 で大銀道西一幣七十萬城の工場市 であるが存は話さらて大工場 地幣及び中工場地駅を中心にその 地幣及び中工場地駅を中心にその

れてゐる。「東京二十一日餐」「財界に對する政局の反映」に配る震響で無に後継内閣に置り一大響域の必要が明ば起だらく其の趣きを異にる金融業者、産業家、質易業者等悉く体業狀態に殴り一大響域の必要が明ば起来の場合と 地震及び中工場地震を中心にその地震及び中工場地震を使より構成と見ば空間がにその子族を破容する極めて完確するものにして現在を確めて完確する上の経察員終七千人を始め日本年上の経察員終出すメル工場の一萬時、膨強場等一千時程度の申込ました。

武安鮮銀支 が二十二百午後八 をが二十二百午後八

◆定期前場
 単位後)

 ◆定期前場
 単位後)

 ・ はりる
 二元の
 三元の

 ・ はりる
 二元の
 三元の

 ・ により
 二元の
 二元の

 ・ により
 二元の

海

店長 武安

株 北濱の寄は諸株共呆 北濱の寄は諸株共呆 小東京短期の東新も五品は二三十銭新豆十銭安で氣乘薄閑散の場面を呈したで氣乘薄閑散の場面を呈したで氣乗薄閑散の場面を呈したで氣乗薄閑かの場面を呈した。 さしてあるのであるのであるから後継の閣の額腕の如何は一大經草時期に野もいよ/一大經草時期に対れば樂悲いづれこも円間が成立してみなければ樂悲いづれこも明師出してみないであるかららい。

經濟界以休業狀態

政局の不安を警戒して

福岡の漁船 苗 0

● :: 満洲國の出現されて来たが酸成されて来たが酸成されてまた。

百

米復興金融會社

其後の活動狀態

銀行業を救つた事績

定した金銀は三億七千萬弗さなつ間に続て、客が館に融資するに決い来四月下旬送の約二ヶ月半の期

その要點を駆けると次の

かくして現在送に融通を受ける

る、事實一時は非常に不安な空氣をなんでのたアメリカ銀行祭は、

お陰な蒙つてゐるのは銀行業であれによつても明かなる如く一番

融資三億七千萬

出してゐる

同會社の業務

◆…会目離と新り もたことは些か響等 あるが継令連くすり もたことは些か響等 あるが継令連くすり もたことは些か響等 野でして没起の名が配った。 出来ない死活

2,245.6

373.354.9 165.763.8 10,600.9 5.926.6

1.073.4 1.521.3 22,121.0 55,379,5 2.154.6 2.086.6 274.3 2.070.2 516.7 451.9 18.1 305.9 425.6 552.4 23.0 576.1 2,305,7 2.234.2 3.044.1 3,446.7 7.734.8 1.148.1 1.933.7 1.691.7 163.8 145.7 4.441.8 2348.8 粉

3,0

M 3.350.2

電六三五〇街

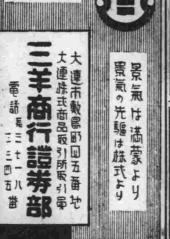
地 * 保合

170枚 コミヤの芸園 170枚 コミヤの芸園

保護準備 日のでは、これでは、日本のではのは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、 2.111.5 (日曜土) 物 し 催 の 晩 今 細君解放記 曉の市街戦 常盤座 春秋長脇差 振袖勝 ルタの 中央映画館 電園廣場 が字 0

地下室金 直鐵 で快適利便に

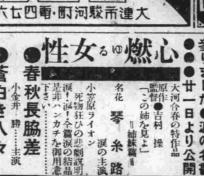
大震 プレイガイド 電六五五の笛 引取撤一式抵债公

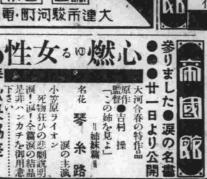






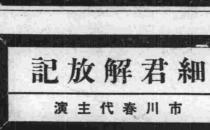








大九九九八



上海向電信買(同) 100M0分0 同十五日掃買(同) ギ(側00 同十五日掃買(同) ギ(側00 中度麻袋 等新直接 三智比三分一 物流度 三智比三分一 座

語物性能服作伸川谷長 **角勝袖振** の子智ノキマ・駅太闽村澤 **屋小焼炭** 郷代現子郷川小・夫正井太 郎五富カ勢 是低の料金

優女れぐは氣

前年に比し十五萬廟 形空 十萬廟 さ見られており六月中師 を かち極い高級派を製するものさ、 を かち極い高級派を製するものさ、 を かち極い高級派を製するものさ、 を かち極いで、 13橋等の上流。 を かち極いで、 13橋等の上流。 を かち極いで、 13橋等の上流。 を かち極いで、 13橋等の上流。 を から極いである。 18世界である。 18世界である 新紙幣に 補助貨幣換算率 四、五月の平均相場から

對する

市

況守

H

第一等出

調

方針

三弗四分二

を はないが兎に無全諸極調系の実践 地安東の粉末も離く開けて來たの 地安東の粉末も離く開けて來たの 地安東の粉末も離く開けて來たの で持治を経ての常外輸出も活況を では治を経ての常外輸出も活況を

滿洲中央銀行の

補助貨幣は吉椒管転、哈大洋、黒流が高端、紫天票の四種にして新龍江官帖、紫天票の四種にして新龍江官帖、紫天票の四種にして新龍江官帖、紫天票の四種にして新龍江官帖、紫天票の四種にして新北欧一元に野する機能能した。 愛縣出品數 に見れば前月にむさい。 「これば前月にむさいではたの如とは一般を出れば前月にむさい。 「たの如とも油房では、1、2年では、

「東京二十一日登」開税調査會は二十日午前十時から開會午前午後に取り協議の結果商業林園税を保 を加へるを源標で見て懸鮮金四風十二銭は現在のま、提配き間税を和電り一風六十五銭より六間十銭 を加へるを源標で見て懸鮮金四風十二銭は現在のま、提配き間税を和電り一風六十五銭より六間十銭 に引上げんさするものであると、とかして開税の引上げに供い略和七年度増収見込に統一千六百萬園 に引上げんさするものであると、とかして開税の引上げに供い略和七年度増収見込に統一千六百萬園 に引上げんさするものであると、とかして開税の引上げに供い略和七年度増収見込に統一千六百萬園 に引上げんさするものであると、とかして開税の引上げに供い略和七年度増収見込に統一千六百萬園 に引上げんさするものであると、とかして開税の引上げに供い略和七年度増収見込に統一千六百萬園 に引上げんさするものであると、とかして開税の引上げに供い略和七年度増収見込に統一千六百萬園 に引上げんとするものであると、とかして開税の引上げに供い略和七年度増収見込に統一千六百萬園 に引上げんとするものであると、とかして開税の引上げに供い略和七年度増収見込に統一千六百萬園 に引上げたきば金の豫算を終二千五百萬風度額とて居る 現金の一部に振向けられ差損金の豫算を終二千五百萬風度額とて居る

【東京二十一日簽】 闡祝調査會は二十日午前九時半蔵相官邸に開催し密誌の結果左の二項の決定をみ

、産業保護を目的とする品目別改正(二十七品目)平均五割方税率の引上を行ふこと但し南洋材は、從景税附加税は幹事會案通り一律に三割五分を附加することに決定後、時間會した

貿易は六月から

出超に轉せん

各商品共輸入一段落

在貨は既に飽和狀態

地場に同月中 一至"夫 一至"夫 一至"夫

1 | 空限

三二先

で変という。 変とない。 では第一部八小間、第二部十六小間で では第一部八小間、第二部十六小間で では第一部八小間、第二部十六小間で ここ十二小間の増加で派遣人員 は十八名であるこ【奉天登】

二六四七 四六000 合二五天 合二五天 合二五天 合二五天 合二五天 合二五天

新蘭錢新銘

二月大連管内の

上業生產品激增

總生産額八百萬餘圓

間地販 電像である では る 化學工業 の の かまなれる ため 仕 の いよの 外 温 保 品 こ なれる ため 仕 の いよの 外 温 保 品 こ なれる ため 仕

一段刺戟も急落した

爲替氣配

品

はれ一種沈製な空氣に閉されてゐるが▲常市場にさっては出現するものが超然内閣にせよ完善影響ないを有内閣の為替政策如何が関いた有内閣の為替政策如何が関いた有内閣の為替政策如何が関いた有内閣の為替政策如何が関いた有内閣がすでに内定してるた管理家以上のものはさして、対策内閣がすでに内定している。

糸强保合

各地特產發送高 全期 原 本開 原 本問 原 本問 原 本四 二七車 大豆一五八車 高粱 二車 建穀 二四車 建穀 二車 建穀 二四車 全員和 二〇車 建穀 二三車 建穀 二三車 大豆 上車 建穀 二三車 大豆 上車 建穀 二三車 大豆 二三八車 五車 高粱 四里 一工車 高粱 四里 一工車 高粱 四里 一工車 高粱 四里 一工車 高粱 二二二車

哈爾濱(七月原際10000 (八月原際100000 八月原際100000 小小 麥 小小 麥 信興洲満

なのきさぬは、3つ 祖始の業信果 査調 計統 報日

ŔŔ

大田公開

篇巨の演王助と肥い 二初 ーキート・ルーオ劇代時の初最邦本 本時 劇賞大演主スクンバイテンモ 封よ 日 廿立代 の劇 滅主嬢ーアム・ンーリコ

大阪期米 前場所前場引 1850 1850 1850 1850 1850

限 新付 大阪棉花

前場新